

**令和元年度(2019年度)  
函館市地域包括支援センター活動実績**

# 目 次

○ 函館市の現状 .....	1
<b>【介護予防事業】</b>	
○ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	
1 健康づくり教室 .....	2
2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動 .....	3
<b>【包括的支援事業】</b>	
○ 総合相談支援業務	
1 地域包括支援ネットワークの構築 .....	4
2 実態把握 .....	7
3 総合相談 .....	8
4 見守りネットワーク事業 .....	9
5 保健福祉サービス等利用調整 .....	13
6 住民に対する広報・啓発活動 .....	13
○ 権利擁護業務	
1 権利擁護相談対応状況 .....	14
2 スキルアップ対策 .....	15
3 住民に対する広報・啓発活動 .....	15
○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況 .....	16
2 介護支援専門員への個別支援 .....	18
○ 生活支援体制整備事業	
1 地域におけるネットワーク構築 .....	24
2 住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発 .....	24
3 地域における高齢者の支援体制および社会参加に関するニーズの把握および課題の抽出 ..	25
4 住民主体の助け合い活動等の仕組みの創出および充実 .....	26
○ 認知症支援事業	
1 認知症初期集中支援推進事業 .....	27
2 認知症地域支援・ケア向上推進事業 .....	28
○ 地域ケア会議推進事業	
1 地域ケア会議開催状況 .....	30
2 住民等に対する広報・啓発活動 .....	35
<b>【任意事業】</b>	
1 住宅改修支援事業 .....	36

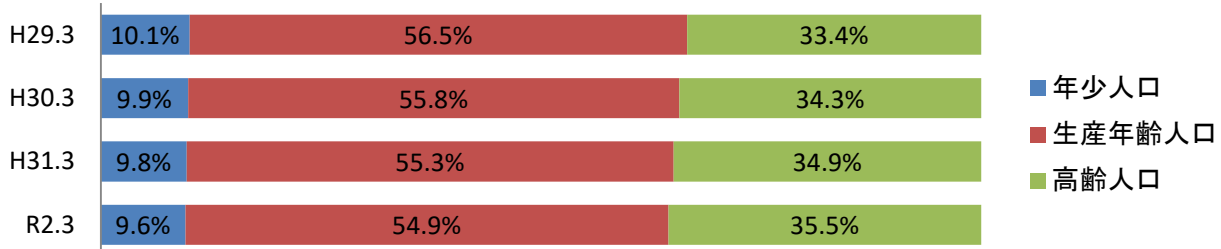
# 函館市の現状

## 1. 人口の推移と年齢構成

(人・%)

	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	割合
年少人口	27,356	26,580	25,783	25,070	24,336	9.6%
生産年齢人口	152,760	149,062	145,235	142,026	139,051	54.9%
高齢人口	86,657	88,064	89,156	89,676	89,953	35.5%
(再掲) 65～74歳	43,840	44,041	44,393	43,798	43,754	17.3%
(再掲) 75歳以上	42,817	44,023	44,763	45,878	46,199	18.2%

### 年齢構成割合の推移



## 2. 世帯構成(R2.3末)

(件・%)

	世帯数	割合
高齢者単身世帯	35,410	25.1%
高齢者複数世帯	18,532	13.1%
その他	87,279	61.8%

## 3. 介護保険サービス事業所数(R2.3末)

(件)

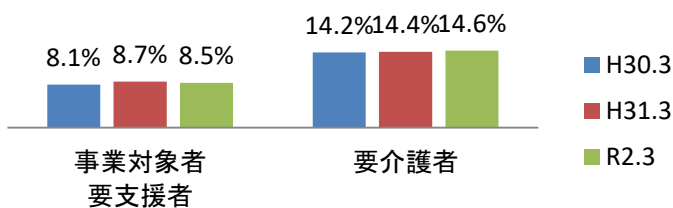
居宅介護支援・小規模多機能型等	124
地域密着型サービス(上記除く)	132

## 4. 事業対象者, 要支援・要介護認定者の状況

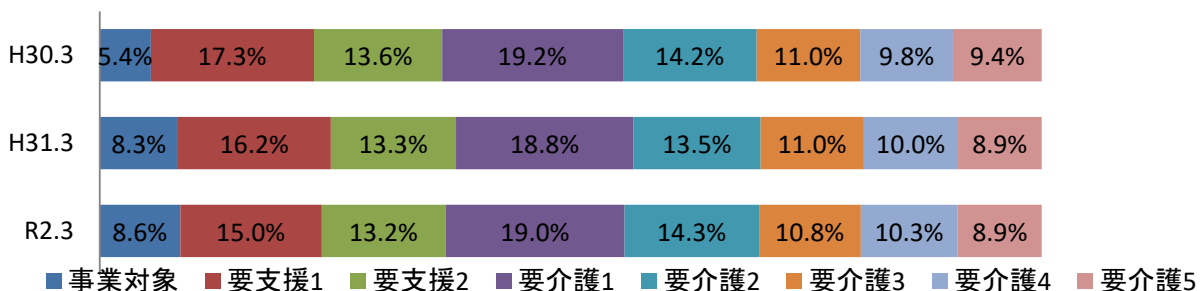
(人・%)

	H30.3		H31.3		R2.3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
事業対象者	1,081	1.2%	1,722	1.9%	1,777	2.0%
要支援認定者	6,172	6.9%	6,114	6.8%	5,855	6.5%
要介護認定者	12,702	14.2%	12,876	14.4%	13,146	14.6%
事業対象・要支援認定者の給付実績	4,607	63.5%	4,870	62.1%	4,493	58.9%

### 認定率の推移



### 介護度の内訳の推移



# 【介護予防事業】高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

## 1 健康づくり教室

### (1) 新規教室実施状況

(人・回)

センター名	実施回数	会場	従事者数			参加者数			1人の平均参加回数	アンケート結果 (維持・向上した人の割合)				令和2年度の方向性 (令和元年度末時点)
			実数	延数	1回平均	実数	延数	1回平均		主観的健康観	運動・趣味活動	外出頻度	社会活動頻度	
あさひ	12	末広町会館	4	25	2.1	11	92	7.7	8.4	71.4%	85.7%	85.7%	100.0%	自主活動グループへ移行
こん中央	11	千歳町会館	5	22	2.0	21	146	13.3	7.0	—	—	—	—	継続して開催支援
ときとう	10	松陰町会館	7	25	2.5	21	149	14.9	7.1	84.6%	84.6%	76.9%	76.9%	継続して開催支援
ゆのかわ	12	駒場団地町会集会所	6	25	2.1	9	93	7.8	10.3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
	11	コンテ日吉多世代交流センター	6	27	2.5	20	115	10.5	5.8	100.0%	100.0%	94.4%	100.0%	終了
たかおか	9	銭亀町会館	13	36	4.0	29	184	20.4	6.3	—	—	—	—	継続して開催支援
西堀	12	鍛冶町会館	14	39	3.3	16	138	11.5	8.6	100.0%	88.9%	100.0%	100.0%	終了
亀田	12	地域支援グループ くりの木	3	36	3.0	15	94	7.8	6.3	—	—	—	—	継続して開催支援
	6	赤川町会館	4	24	4.0	17	57	9.5	3.4	90.9%	90.9%	63.6%	81.8%	自主活動グループへ移行
神山	11	陣川あさひ町会館	16	35	3.2	34	164	14.9	4.8	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	継続して開催支援
よろこび	15	港町会館	8	54	3.6	23	230	15.3	10.0	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	自主活動グループへ移行
	13	港北部町会館	3	30	2.3	7	66	5.1	9.4	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	終了
社協	12	汐首東会館	8	35	2.9	15	113	9.4	7.5	55.6%	88.9%	88.9%	100.0%	終了
合計	146		97	413	2.8	238	1,641	11.2	6.9					
H30実績	171		130	557	3.3	275	2,553	14.9	9.3					

※従事者数には、センター職員のほか、外部講師やボランティアも含まれる。

### (2) 継続教室実施状況

(回)

センター名	実施年数	会場	支援回数	令和2年度の方向性 (令和元年度末時点)
あさひ	2年目	弁天町会館	17	自主活動グループへ移行
	3年目	第二船見町会館	13	継続して開催支援
こん中央	2年目	大縄町会館	17	自主活動グループへ移行
	11年目	救護施設明和園	18	継続して開催支援
ときとう	2年目	コミュニティホール こん	22	自主活動グループへ移行
たかおか	2年目	新湊町会館	12	自主活動グループへ移行
西堀	2年目	富岡町一丁目町会館	12	自主活動グループへ移行
神山	2年目	伊藤道場	10	自主活動グループへ移行
社協	2年目	尻岸内会館	12	終了

※ゆのかわ、亀田、よろこびは実施なし

- 健康づくり教室の新規教室は、平成30年度と比較して1教室多い13教室の実施となったが、参加者数および1回平均参加者数が減少しており、小規模な教室が多かった。アンケート結果をみると、教室の参加前後で心身機能の維持・向上ができた参加者が多く、介護予防の効果はあったと評価できる。  
令和2年度の方向性としては、4教室が自主活動グループへ移行し、5教室は継続教室として活動する予定であるが、参加者数が少ない、リーダーとなる人材の不足等により活動を終了することとなった教室も4教室あった。
- 9教室が継続教室として自主化を目指し活動していたが、そのうち6教室が令和2年度に自主活動グループへ移行することとなった。
- 『函館市地域包括支援センター運営方針』において、平成29年度から「住民主体の活動の場の拡充による地域づくり」を重点事項に掲げている。  
教室開催当初から、自主化を目指した働きかけを行うことで、自主化するまでの期間が短縮している。  
また、令和元年度に活動を継続している自主活動グループは54グループで、令和2年度にはさらに10グループが自主化する予定であり、平成29年度の38グループから大幅に増加している。住民主体の活動の場の拡充が順調に進み、参加者の介護予防にも効果があったと評価できる。
- 一方で、新規教室の参加者数が減少しているほか、参加者数の減少やグループを運営する人材の不足で活動が継続できないグループも少しずつ増えている。また、個人の介護予防だけでなく、参加者同士の助け合いへの発展の可能性も大いにあることから、令和2年度は、介護予防事業から体制整備事業に移行し、既存の自主活動グループへの後方支援をより強化するとともに、多くの高齢者が社会参加できるようコーディネートを行うこととする。

(参考) 自主活動グループ

センター名	新規教室 開始年度	会 場
あ さ ひ	H22	宝来町会館
	H24	女性センター(ゆる体操)
	H25	女性センター(なかよしクラブ)
	H25	弥生小学校
	H28	入舟町会館
	H29	大森町会館
こ ん 中 央	H23	千代台町会館
	H24	特別養護老人ホーム松濤
	H26	上新川町会館
	H27	終末処理場集会所
	H27	新川町会館
	H28	的場町会館
と き と う	H20	乃木町会館(※1)
	H24	柏木町会館
	H24	梁川町会館
	H26	道宮柳町団地集会所
	H26	教育大函館校(八幡町)
	H29	五稜郭町会館
	H29	時任町会館
	H29	人見町会館
ゆ の か わ	H21	湯川1丁目町会
	H23	湯川3丁目町会館
	H23	花園町団地4号棟(花園町団地)
	H25	日吉3丁目団地集会所
	H25	ホテルテトラ湯の川
	H26	深掘町会館
	H26	ユートピア川原集会所
	H29	深駒町会館

センター名	新規教室 開始年度	会 場
た か お か	H22	根崎生活館(高松町親交会)
	H25	榎本町会館
	H27	空港団地町会館
	H29	古川町会館
亀 田	H22	石川町会館
	H24	昭和町会館
	H27	美原商店街振興会館
神 山	H23	本通中央町会館
	H23	本通町会館
	H26	東山見晴団地町会館
	H28	ひばりが丘町会集会所
	H29	花園団地集会所
よ ろ こ び	H23	追分町会館
	H24	桔梗町会館
	H25	北浜町会館
	H28	亀田町民会館
	H28	亀田港町会館
	H29	桔梗交流福祉センター
	H30	亀田本町会館
社 協	H24	中浜会館
	H26	恵山コミュニティセンター
	H26	社協戸井支所
	H27	柏野会館
	H29	介護付有料老人ホームとどほっけ

※1 センターの独自事業として開始

2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あ さ ひ	17	2
こ ん 中 央	4	3
と き と う	6	1
ゆ の か わ	9	1
た か お か	5	2
西 堀	0	5
亀 田	1	4
神 山	4	1
よ ろ こ び	3	3
社 協	3	44
合 計	52	66
H30実績	72	74

- ・介護予防に関する広報・啓発活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月以降は地域での集まりの多くが中止されたことから、平成30年度と比較し、出前講座・講師派遣による広報・啓発回数が増加したと考えられる。
- ・出前講座・講師派遣による広報・啓発の対象者は、自主活動グループや在宅福祉委員会、町会、老人クラブが多く、すでに何らかの取組や社会参加の機会がある高齢者が多かった。
- ・一方、広報紙に介護予防の重要性や取組方法を掲載したセンターが多く、広報紙・パンフレットの配布を通して、地域住民に広く広報・啓発ができたことと評価できる。

# 【包括的支援事業】総合相談支援業務

## 1 地域包括支援ネットワークの構築

### (1) 地域包括支援ネットワーク構築機関数

(機関)

センター名	民児協 方面	町会	在宅福祉 委員会	介護保険 事業所	(再) 地域密着	職能団体 連携	その他	合計	(再) 新規	その他の内訳
あさひ	3	18	5	22	11	0	16	64	11	アイン薬局元町店、旭町郵便局、亀田北病院、共同児童保育ちびっこクラブ、嶋田・平田法律事務所、住宅型有料老人ホーム泰、生活就労サポートセンターおしま、西部児童館、第一興商函館支店、なるかわ病院、函館市社会福祉協議会、函館渡辺病院、法テラス函館事務所、保健福祉部生活支援課、弥生小学校、有限会社ウジャト
こん中央	4	18	3	28	22	0	28	81	26	イトウ電気商会、鴻寿会、鴻仁会、大森浜小学校、小笹内科医院、渡島・檜山圏域障害者総合相談支援センターめい、児童保育にっこにっこクラブ、共愛会病院、ケアプラザ新函館ただけクリニック、住宅型有料老人ホームふかせ、障害者生活支援センターぱすてる、そよかぜ家族会、高学児童保育所あかねキッズクラブ、中央郵便局、中島小学校、中島れんばいひまわり会、中島れんばいふれあいセンター、ナルク函館はまなす、函館駅前交番、函館大谷幼稚園、函館市社会福祉協議会、函館西警察署、函館バス株式会社、函館認知症の人を支える会、はこだて柳屋、北星小学校、北海道教育大学函館校、有限会社ウイズ
ときとう	3	10	2	25	17	0	53	93	20	青森銀行函館支店、いちたかガストン、鴻仁会、大野農業高等学校、大森浜小学校、渡島・檜山圏域障害者総合相談支援センターめい、柏野小学校、株式会社ティークラウド、亀田中学校、北日本庭園設計株式会社、協和ハウス有限会社、くにや司法書士法人、元気deサロンin本町、合同容器株式会社函館事業部、コミュニティハウスよしみ白鳥下宿、五稜郭タワー、三和防災、JR北海道函館支店、嶋田・平井法律事務所、障害者生活支援センターぱすてる、生活就労サポートセンターおしま、総務部総務課、函館ちとせ幼稚園、テオーデパート、電通北海道函館支社、うみの星保育園、野村証券株式会社函館支店、パーソナルトレーナー笹川あや、函館大妻高等学校、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市町会連合会、函館市東消防署、函館時任郵便局、函館西警察署、函館認知症の人を支える会、函館の地域づくりを考える会、函館保護観察所、函館梁川商興会、人見認定こども園、プリントハウス、法テラス函館事務所、北洋銀行五稜郭公園支店、保健福祉部生活支援第1課、北海道教育大学函館校、北海道銀行函館支店、北海道新聞函館支社、北海道地域定着支援札幌センター、北海道函館中部高等学校、ホテル法華クラブ函館、丸井今井函館、名美興業株式会社、名美商事株式会社、山びこ治療院
ゆのかわ	2	13	2	18	16	0	17	52	22	えにしあ薬局、教育委員会、クッキーハウス、駒場小学校、コンテ日吉歯科医院、日本中央競馬会、函館市地域交流まちづくりセンター、函館日吉四郵便局、函館福ちゃん保育園、深堀小学校、深堀小学校PTA、ベストケアサービス、法テラス函館事務所、北海道函館盲学校、Ponte、明美興業株式会社、山びこ治療院
たかおか	3	12	2	15	10	2	27	61	16	おせっかい、江差町役場高齢あんしん課、NPO法人日本サハリン協会、長万部町社会福祉協議会、木古内町社会福祉協議会、救護施設高丘寮、行徳建設株式会社、行政書士松田聡事務所、ケアハウス豊春、児童養護施設くるみ学園、浄土宗大願寺、富田病院、ななえ新病院、七飯町社会福祉協議会、なるかわ病院、函館五稜郭病院、函館市成年後見センター、函館中央病院、函館ビルディング、函館臨床福祉専門学校、函館渡辺病院、法テラス函館事務所、北斗市社会福祉協議会、北海道新聞函館支所、松前町社会福祉協議会、八雲町熊石総合支所住民サービス課、湯川地区防犯パトロール隊
西堀	2	6	3	12	9	2	14	39	15	亀田北病院、国立病院機構函館病院、鹿部町社会福祉協議会、知内町地域包括支援センター、大願寺、なかよし会、なるかわ病院、函館大谷短期大学、函館市成年後見センター、函館認知症の人を支える会、函館脳神経外科病院、函館北病院、函館渡辺病院、北斗市地域包括支援センターかけはし
亀田	3	9	2	31	26	2	48	95	14	青葉子供会、赤川小学校、赤川中学校、赤川三島神社奉賛会、赤沼本山妙聖寺、石川長寿会、NPOスプリングボード、HIF生活就労サポートセンター、亀田北病院、亀田北病院認知症疾患医療センター、桔梗交番、桔梗小学校、北美原小学校、教育大学附属函館小学校、行政書士北村資院事務所、くるみ学園、サービス付高齢者住宅亀田日和、サービス付高齢者住宅ケアビレッジ湯川、サービス付高齢者住宅ライフシップ石川、三和印刷、JA函館市亀田、尙愛会、パレット、清流会、ダスキ、地域支援グループくりの木、富田病院、なるかわ病院、ノースフォックス、函館あいの里、函館赤川郵便局、函館市社会福祉協議会、函館市町会連合会、函館せいかつコミュニティ、函館大学付属柏陵高等学校、函館中央警察署、函館萬屋書店、函館弁護士会、函館陵北高等学校、函館陵北病院、函館臨床福祉専門学校、函館渡辺病院、平和興産株式会社、ベストケアサービス、法テラス函館事務所、北部地区協議会、北海道教育大学函館校、山びこ治療院
神山	2	9	2	10	9	1	14	38	11	神山小学校、子ども未来部次世代育成課、サービス付き高齢者向け住宅シニアハウスあい、陣川あさひ親交会、生活就労サポートセンターおしま、第1層生活支援コーディネーター、登校拒否と教育を考える函館アカンヤ会、放課後子ども教室指導員、法テラス函館事務所、本通小学校、本通小学校PTA、本通青松会、南本通小学校、南本通小学校PTA
よろこび	3	16	3	24	20	1	26	73	3	桔梗寿会、桔梗サッカー少年団、桔梗小学校、桔梗小学校PTA、桔梗小学校社会学級、桔梗スポーツ少年団、桔梗中学校、桔梗福祉交流センター、桔梗保育園、ききょうホープス、桔梗松葉会、北浜老寿会、鴻寿会、五稜郭中学校、教育委員会、JA函館市亀田、SOMPOケアそんぼの家函館昭和、七飯有隣会、中ノ沢小学校、市民部くらし安心課、函館市地域交流まちづくりセンター、比遅里神社、法泉寺、万年橋小学校、ゆあさ社会福祉士事務所、有限会社ウイズ

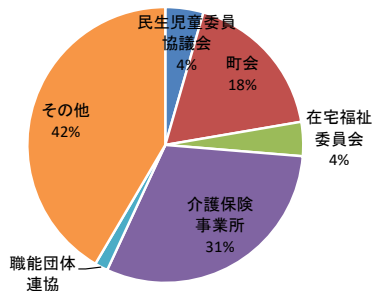
センター名	民児協 方面	町会	在宅福祉 委員会	介護保険 事業所	(再) 地域密着	職能団体 連協	その他	合計	(再) 新規	その他の内訳
社 協	4	5	2	14	7	2	27	54	3	恵山教育事務所, 恵山子供会育成連絡協議会, 恵山支所市民福祉課, 恵山支所地域福祉課, 恵山小学校, コスモス調剤薬局とどほっけ店, さくら薬局南かやべ店, 潮光中学校, 市立函館恵山病院, 市立函館南茅部病院, 杉山クリニック, 戸井支所市民福祉課, 戸井西小学校, 東部保健事務所, 榎法華クリニック, 榎法華支所市民福祉課, 函館市社会福祉協議会戸井支所, 函館市社会福祉協議会榎法華支所, 函館市社会福祉協議会南茅部支所, 函館渡辺病院, 東消防署日ノ浜出張所, 法テラス函館事務所, 皆川調剤薬局, 南茅部支所市民福祉課, 南茅部駐在所, レインボー薬局恵山店, レインボー薬局戸井店
合 計	29	116	26	199	147	10	270	650	141	
H30実績	28	77	25	203	119	28	176	537	105	

(2) 地域包括支援ネットワーク構築数 (回)

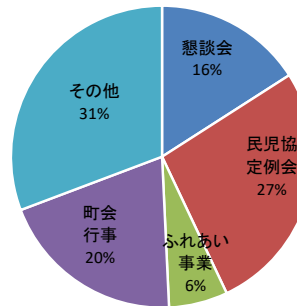
センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会 行事	その他	合計
あ さ ひ	7	22	1	2	10	42
こ ん 中 央	3	13	1	8	6	31
と き と う	8	15	4	5	8	40
ゆ の か わ	1	0	3	3	3	10
た か お か	5	3	0	7	5	20
西 堀	9	5	1	5	5	25
亀 田	4	0	6	16	6	32
神 山	2	2	1	5	8	18
よ ろ こ び	0	4	0	3	5	12
社 協	4	9	0	0	27	40
合 計	43	73	17	54	83	270
H30実績	58	45	20	57	76	256

- ・総合相談支援業務のネットワーク構築機関数は、平成30年度と比較して100機関以上増加しているほか、新たにネットワークを構築した機関も141機関と多く、既存のネットワークを維持するだけでなく、新たなネットワークを広げることができたと評価できる。  
地域課題の検討を行う地域ケア会議において、地域の互助力を高めるため、多世代交流の取組をする地域が増加しており、ネットワーク構築機関でも、保育園や学童保育所等子ども関係の機関が増加している。  
なお、ネットワークを構築した町会の数が増加しているが、町会連合会が開催した研修会で、他圏域の町会とも交流する機会があったことが影響していると考えられる。
- ・ネットワーク構築数では、民生児童委員協議会定例会への参加回数が増加している。平成28年度から函館市地域ケア全体会議で取り組んできた『民生委員とケアマネジャーの連携ガイド』が完成したため、各センターが定例会において説明と配布を行ったことが影響している。ガイドの配布を通し、ケアマネジャーについての勉強会を開催した方面もあり、センターと地域の関係者とのネットワーク構築だけでなく、関係機関同士のネットワークの構築にも寄与することができたと評価できる。

ネットワーク構築機関内訳



ネットワーク構築方法内訳



(参考)

①地域密着型サービス事業所運営推進会議

(件・回)

センター名	事業所数	参加回数
あさひ	10	15
こん中央	16	23
ときとう	18	32
ゆのかわ	16	32
たかおか	9	23
西堀	9	31
亀田	19	41
神山	9	20
よろこび	19	45
社協	7	15
合計	132	277
H30実績	130	330

②地域ケア会議の参集者(関係分抜粋)

(回)

センター名	開催回数	民生委員	町会役員	在宅福祉
あさひ	5	3	1	9
こん中央	9	6	3	2
ときとう	10	20	20	7
ゆのかわ	12	18	36	12
たかおか	11	10	46	43
西堀	6	16	3	4
亀田	8	2	1	12
神山	18	48	30	3
よろこび	10	19	8	1
社協	6	3	4	1
合計	95	145	152	94
H30実績	96	175	197	119

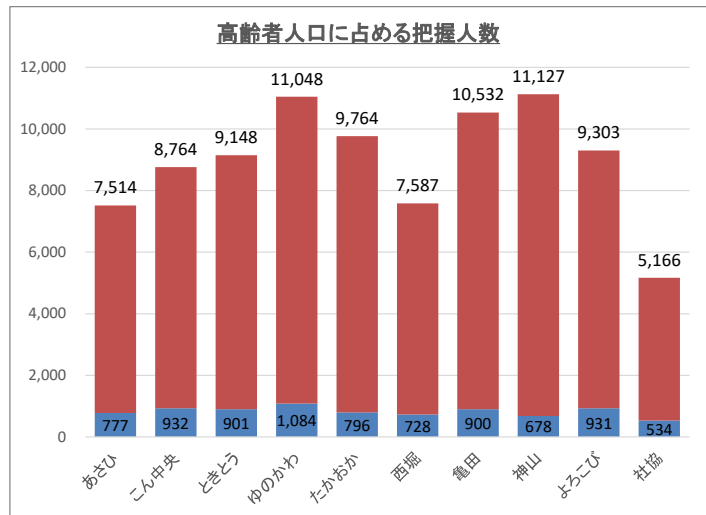


## 2 実態把握

### (1) 実態把握数の推移と高齢者人口に対する実態把握実施率

(人・%)

センター名	高齢者人口 (R2.3末)	把握人数		把握率
		(再) 新規把握		
あさひ	7,514	777	341	10.3%
こん中央	8,764	932	403	10.6%
ときとう	9,148	901	622	9.8%
ゆのかわ	11,048	1,084	396	9.8%
たかおか	9,764	796	339	8.2%
西堀	7,587	728	353	9.6%
亀田	10,532	900	412	8.5%
神山	11,127	678	283	6.1%
よろこび	9,303	931	333	10.0%
社協	5,166	534	152	10.3%
合計	89,953	8,261	3,634	9.2%
H30実績	89,676	9,400	4,200	10.5%



### (2) 項目別内訳

(人・%)

センター名	令和元年度実態把握数(A)				介護予防支援事業 (B/A)	地域支援事業 (C+D/A)	再掲:その他 (D/A)	計画数値に対する達成率	
	予防 (B)	見守り (C)	その他 (D)	合計				計画数値	達成率
あさひ	777	303	95	379	39.0%	61.0%	48.8%	774	100.4%
こん中央	932	405	108	419	43.5%	56.5%	45.0%	890	104.7%
ときとう	901	238	47	616	26.4%	73.6%	68.4%	931	96.8%
ゆのかわ	1,084	539	143	402	49.7%	50.3%	37.1%	1,119	96.9%
たかおか	796	321	106	369	40.3%	59.7%	46.4%	990	80.4%
西堀	728	248	97	383	34.1%	65.9%	52.6%	767	94.9%
亀田	900	303	172	425	33.7%	66.3%	47.2%	1,067	84.3%
神山	678	220	79	379	32.4%	67.6%	55.9%	1,128	60.1%
よろこび	931	278	71	582	29.9%	70.1%	62.5%	957	97.3%
社協	534	75	23	436	14.0%	86.0%	81.6%	527	101.3%
合計	8,261	2,930	941	4,390					
(再) 新規把握	3,634	535	743	2,356	35.5%	64.5%	53.1%	9,150	90.3%
構成割合	100.0%	35.5%	11.4%	53.1%					
H30実績	9,400	3,790	1,121	4,489					
(再) 新規把握	4,200	787	916	2,497	40.3%	59.7%	47.8%	9,150	102.7%
構成割合	100.0%	40.3%	11.9%	47.8%					

- ・実態把握数は、平成30年度と比較し、1,000件以上減少している。指定介護予防支援業務と見守りネットワーク事業による実態把握数が減少しているが、その他のセンター業務を通じた実態把握は、ほぼ例年通りの実態把握数となっている。  
高齢者人口に占める実態把握数について、目標数値の6割程度となっているセンターがあるため、個別に要因の分析と対策の検討が必要と考えられる。
- ・実態把握数のうち44.0%が新規に把握した高齢者の数であり、圏域の高齢者の把握率は年々高まっていると評価できる。また、実際の支援においても、過去に実態把握をした情報に基づきスムーズに支援が開始できる機会が増加しているとのことで、今後も積極的な実態把握を行う必要がある。

### 3 総合相談

#### (1) 総合相談対応件数

(件)

センター名	対象者 実件数	相談 延件数
あ さ ひ	907	1,432
こ ん 中 央	675	1,129
と き と う	787	1,510
ゆ の か わ	1,248	1,620
た か お か	910	1,313
西 堀	725	1,041
亀 田	1,008	1,377
神 山	934	1,433
よ ろ こ び	978	1,269
社 協	738	880
合 計	8,910	13,004
H30実績	9,525	13,327

#### (2) 相談形態内訳(延)

(件)

センター名	来所	電話	訪問	その他
あ さ ひ	98	518	785	31
こ ん 中 央	51	447	608	23
と き と う	89	654	738	29
ゆ の か わ	99	655	819	47
た か お か	101	560	641	11
西 堀	144	523	368	6
亀 田	125	542	695	15
神 山	62	694	647	30
よ ろ こ び	60	480	724	5
社 協	57	311	395	117
合 計	886	5,384	6,420	314
H30実績	810	5,117	7,140	260

※対象者実数は、月ごとの対象者数(実数)の累計。

#### (3) 相談者の続柄内訳(重複あり)

(件)

センター名	本人	家族 親族	民生委員	町会 在宅福祉	知人 近隣	ケアマネ	介護保険 事業所	医療機関	行政機関	その他
あ さ ひ	856	495	61	25	32	120	86	144	70	41
こ ん 中 央	538	393	19	14	25	136	32	62	98	30
と き と う	512	556	88	29	44	222	74	106	80	28
ゆ の か わ	1,027	635	20	11	51	201	28	108	53	32
た か お か	701	630	14	21	20	183	68	98	60	19
西 堀	521	523	34	1	23	101	31	89	8	13
亀 田	622	491	46	4	29	137	29	103	40	27
神 山	820	752	24	9	22	245	95	104	71	24
よ ろ こ び	663	539	33	5	18	143	20	94	51	22
社 協	436	184	31	2	7	62	2	41	22	93
合 計	6,696	5,198	370	121	271	1,550	465	949	553	329
H30実績	7,049	4,935	387	107	282	1,422	530	882	694	336

#### (4) 相談内容内訳(重複あり)

(件)

センター名	介護保険 総合事業	保健福祉 サービス	介護予防	健康	認知症	住まい	権利擁護	その他
あ さ ひ	1,014	129	2	118	125	82	3	86
こ ん 中 央	923	79	3	41	93	58	30	44
と き と う	1,115	181	129	152	124	65	33	28
ゆ の か わ	1,232	158	3	16	62	82	8	96
た か お か	1,129	69	2	71	54	91	17	69
西 堀	793	112	8	58	39	55	11	60
亀 田	982	121	47	83	117	80	34	118
神 山	1,068	207	11	39	110	41	16	110
よ ろ こ び	985	116	137	37	36	28	7	9
社 協	322	478	50	5	22	7	5	6
合 計	9,563	1,650	392	620	782	589	164	626
H30実績	8,591	2,079	614	463	891	663	150	1,100

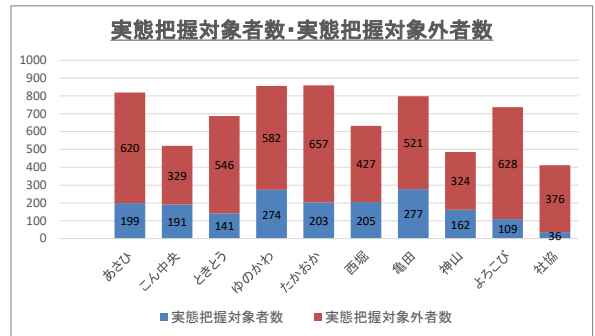
- 総合相談対応件数は、平成30年度と比較しわずかに減少している。1月から3月の相談件数が少なく、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、人との接触機会を減らすために相談を控えたり、家族や地域住民との交流機会が減り、周囲の人が異変に気づくことができず相談につながらなかったことが理由として考えられる。
- 家族・親族や町会・在宅福祉委員会からの相談が増加しているほか、民生児童委員からの相談件数もほぼ例年通りとなっており、地域の相談窓口として一定程度機能していると評価できる。
- 『函館市地域包括支援センター運営方針』において、「地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに、誰かが異変に気付いたら相談できる地域づくりを行う」ことを重要課題としており、後期高齢者数の増加や核家族化、地域の互助力の低下から、見守りや支援を必要とする高齢者が今後も増加すると考えられることから、地域住民からの相談がさらに増加するために必要な取組を推進する必要がある。センター・市が協働し周知を強化するほか、目指す姿の共有、現状の確認と相談件数増加のための効果的な取組についての検討を行う必要がある。

## 4 見守りネットワーク事業

### (1) 実態把握対象町の状況

(人・%)

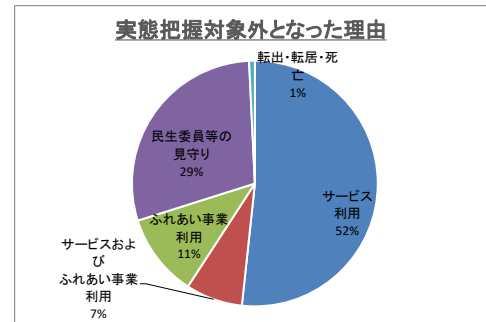
センター名	実施済町数	人口 (A)	後期高齢者人口		事業の対象者数 (独居・75歳以上)		実態把握対象		実態把握対象外	
			数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/B)	数 (D)	割合 (D/C)	数 (E)	割合 (E/C)
あさひ	8	7,011	1,568	22.4%	819	52.2%	199	24.3%	620	75.7%
こん中央	3	4,305	953	22.1%	520	54.6%	191	36.7%	329	63.3%
ときとう	5	8,054	1,391	17.3%	687	49.4%	141	20.5%	546	79.5%
ゆのかわ	3	6,919	1,555	22.5%	856	55.0%	274	32.0%	582	68.0%
たかおか	6	7,927	1,687	21.3%	860	51.0%	203	23.6%	657	76.4%
西堀	2	7,231	1,288	17.8%	632	49.1%	205	32.4%	427	67.6%
亀田	5	12,512	1,790	14.3%	798	44.6%	277	34.7%	521	65.3%
神山	7	9,457	1,175	12.4%	486	41.4%	162	33.3%	324	66.7%
よろこび	5	12,140	1,474	12.1%	737	50.0%	109	14.8%	628	85.2%
社協	9	3,903	931	23.9%	412	44.3%	36	8.7%	376	91.3%
合計	53	79,459	13,812	17.4%	6,807	49.3%	1,797	26.4%	5,010	73.6%
H29以降累計	166	232,063	39,881	17.2%	19,198	48.1%	4,947	25.8%	14,251	74.2%



### (2) 実態把握対象外となった理由

(人・%)

センター名	実態把握対象外 (A)	サービスおよびふれあい事業利用		サービス利用		ふれあい事業利用		民生委員等の見守り		転出・転居・死亡	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)
あさひ	620	62	10.0%	318	51.3%	118	19.0%	120	19.4%	2	0.3%
こん中央	329	26	7.9%	180	54.7%	47	14.3%	67	20.4%	9	2.7%
ときとう	546	98	17.9%	177	32.4%	168	30.8%	99	18.1%	4	0.7%
ゆのかわ	582	61	10.5%	317	54.5%	53	9.1%	147	25.3%	4	0.7%
たかおか	657	43	6.5%	326	49.6%	54	8.2%	231	35.2%	3	0.5%
西堀	427	15	3.5%	260	60.9%	21	4.9%	125	29.3%	6	1.4%
亀田	521	26	5.0%	305	58.5%	17	3.3%	169	32.4%	4	0.8%
神山	324	23	7.1%	163	50.3%	29	9.0%	106	32.7%	3	0.9%
よろこび	628	16	2.5%	387	61.6%	29	4.6%	194	30.9%	2	0.3%
社協	376	5	1.3%	157	41.8%	12	3.2%	201	53.5%	1	0.3%
合計	5,010	375	7.5%	2,590	51.7%	548	10.9%	1,459	29.1%	38	0.8%
H29以降累計	14,251	1,081	7.6%	7,121	50.0%	1,521	10.7%	4,433	31.1%	95	0.7%



※平成29年度以降の累計についての記載（以下同様）

- ・見守りネットワーク事業の対象者（75歳以上・単身世帯）のうち、74.2%が実態把握対象外となった。すでに介護保険サービスを利用している者が57.6%を占めたほか、民生児童委員や在宅福祉委員の見守りなど、地域の見守りを受けている者も多くいることが明らかになった。
- ・実態把握対象者の選定にあたっては、民生児童委員と面談し、見守りネットワーク事業の対象者への支援状況等の確認を行っており、民生児童委員との連携が強化される場ともなっている。

(3) 実態把握結果(実態把握実施者)

(人・%)

センター名	実態把握対象		実態把握実施者		支援の必要性の有無				見守りの有無			
					あり		なし		あり		なし	
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(D)	(D/B)	(E)	(E/B)	(F)	(E/B)	
あさひ	199	91	45.7%	9	9.9%	82	90.1%	88	96.7%	3	3.3%	
こん中央	191	76	39.8%	10	13.2%	66	86.8%	72	94.7%	4	5.3%	
ときとう	141	48	34.0%	2	4.2%	46	95.8%	47	97.9%	1	2.1%	
ゆのかわ	274	114	41.6%	14	12.3%	100	87.7%	107	93.9%	7	6.1%	
たかおか	203	111	54.7%	10	9.0%	101	91.0%	105	94.6%	6	5.4%	
西堀	205	97	47.3%	8	8.2%	89	91.8%	96	99.0%	1	1.0%	
亀田	277	117	42.2%	2	1.7%	115	98.3%	115	98.3%	2	1.7%	
神山	162	66	40.7%	0	0.0%	66	100.0%	65	98.5%	1	1.5%	
よろこび	109	50	45.9%	1	2.0%	49	98.0%	50	100.0%	0	0.0%	
社協	36	24	66.7%	8	33.3%	16	66.7%	24	100.0%	0	0.0%	
合計	1,797	794	44.2%	64	8.1%	730	91.9%	769	96.9%	25	3.1%	
H29以降累計	4,947	2,258	45.6%	182	8.1%	2,076	91.9%	2,207	97.7%	51	2.3%	

【参考①: 支援が必要な理由】

(人・%)

センター名	支援の必要性あり	支援が必要な理由(重複あり)											
		身体機能低下		認知機能低下		健康問題		経済問題		孤立		その他	
		(B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(D)	(D/A)	(E)	(E/A)	(F)	(F/A)	(G)	(G/A)
あさひ	9	4	44.4%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	3	33.3%
こん中央	10	5	50.0%	2	20.0%	2	20.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	10.0%
ときとう	2	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ゆのかわ	14	12	85.7%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%
たかおか	10	7	70.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%
西堀	8	6	75.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	1	12.5%
亀田	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
社協	8	7	87.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	64	43	67.2%	4	6.3%	5	7.8%	2	3.1%	6	9.4%	8	12.5%
H29以降累計	182	114	62.6%	18	9.9%	18	9.9%	5	2.7%	17	9.3%	17	9.3%

【参考②: 支援内容】

(人・%)

センター名	支援の必要性あり	支援の内容(重複あり)															
		介護認定申請		介護保険サービス調整		老福サービス調整		ふれあい事業調整		その他サービス調整		民生委員の見守り		権利擁護業務		その他	
		(B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(D)	(D/A)	(E)	(E/A)	(F)	(F/A)	(G)	(G/A)	(H)	(H/A)	(I)	(I/A)
あさひ	9	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	55.6%
こん中央	10	3	30.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	5	50.0%
ときとう	2	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%
ゆのかわ	14	2	14.3%	10	71.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%
たかおか	10	5	50.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%
西堀	8	2	25.0%	2	25.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	2	25.0%
亀田	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
神山	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よろこび	1	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
社協	8	3	37.5%	2	25.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%
合計	64	19	29.7%	17	26.6%	7	10.9%	0	0.0%	2	3.1%	4	6.3%	1	1.6%	20	31.3%
H29以降累計	182	45	24.7%	88	48.4%	15	8.2%	0	0.0%	5	2.7%	11	6.0%	4	2.2%	48	26.4%

【参考③：見守りの内容】

(人・%)

センター名	見守りあり (A)	見守りの内容											
		稼働		親族との交流		民生委員等の見守り		近隣・知人との交流		習い事・地域活動		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)	数 (G)	割合 (G/A)
あさひ	88	5	5.7%	61	69.3%	0	0.0%	17	19.3%	3	3.4%	2	2.3%
こん中央	72	0	0.0%	51	70.8%	1	1.4%	13	18.1%	5	6.9%	2	2.8%
ときとう	47	1	2.1%	33	70.2%	1	2.1%	6	12.8%	6	12.8%	0	0.0%
ゆのかわ	107	1	0.9%	77	72.0%	5	4.7%	14	13.1%	10	9.3%	0	0.0%
たかおか	105	3	2.9%	83	79.0%	1	1.0%	6	5.7%	6	5.7%	6	5.7%
西堀	96	3	3.1%	74	77.1%	0	0.0%	12	12.5%	7	7.3%	0	0.0%
亀田	115	7	6.1%	86	74.8%	1	0.9%	13	11.3%	6	5.2%	2	1.7%
神山	65	1	1.5%	50	76.9%	2	3.1%	9	13.8%	2	3.1%	1	1.5%
よろこび	50	2	4.0%	28	56.0%	1	2.0%	11	22.0%	7	14.0%	1	2.0%
社協	24	1	4.2%	14	58.3%	1	4.2%	7	29.2%	1	4.2%	0	0.0%
合計	769	24	3.1%	557	72.4%	13	1.7%	108	14.0%	53	6.9%	14	1.8%
H29以降累計	2,207	67	3.0%	1,564	70.9%	47	2.1%	361	16.4%	144	6.5%	24	1.1%

【参考④：見守りの頻度】

(人・%)

センター名	見守りあり (A)	見守りの頻度									
		毎日		週1回以上		月2回以上		月1回以上		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)
あさひ	88	21	23.9%	52	59.1%	7	8.0%	4	4.5%	4	4.5%
こん中央	72	10	13.9%	25	34.7%	16	22.2%	17	23.6%	4	5.6%
ときとう	47	10	21.3%	23	48.9%	6	12.8%	7	14.9%	1	2.1%
ゆのかわ	107	23	21.5%	52	48.6%	8	7.5%	23	21.5%	1	0.9%
たかおか	105	24	22.9%	51	48.6%	5	4.8%	13	12.4%	12	11.4%
西堀	96	15	15.6%	64	66.7%	7	7.3%	5	5.2%	5	5.2%
亀田	115	32	27.8%	58	50.4%	12	10.4%	5	4.3%	8	7.0%
神山	65	15	23.1%	35	53.8%	3	4.6%	11	16.9%	1	1.5%
よろこび	50	13	26.0%	27	54.0%	5	10.0%	4	8.0%	1	2.0%
社協	24	10	41.7%	9	37.5%	2	8.3%	1	4.2%	2	8.3%
合計	769	173	22.5%	396	51.5%	71	9.2%	90	11.7%	39	5.1%
H29以降累計	2,207	480	21.7%	1,153	52.2%	219	9.9%	267	12.1%	88	4.0%

- ・見守りネットワーク事業の対象者（75歳以上・単身世帯）のうち、25.8%が実態把握対象となった。
- ・実態把握対象者4,947名のうち、45.6%にあたる2,258名については、訪問時に面談し実態把握を行うことができた。  
実態把握対象者の91.9%は心身ともに健康で支援の必要性がなく、また、97.7%は親族・近隣・知人等の見守りを受けている状況にあることが明らかになった。
- ・一方、182名は、身体機能の低下等により支援が必要な状況であり、介護保険サービスの利用のための支援等を行うことができた。  
見守りネットワーク事業は、センターがアウトリーチを行い、支援が必要な人を早期に発見し、必要な支援に結びつけることを目的に実施しており、3年間で182名の支援を行うことができたことは、本事業の効果と評価できる。

(4) 実態把握結果(実態把握未実施者)

(人・%)

センター名	実態把握対象		実態把握未実施者		実態把握が行えなかった理由														
					断りの連絡		連絡票投函後 応答なし		玄関先で終了		家族同居		後日訪問約束		転出・転居・死亡		家不明		その他
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(D)	(D/B)	(E)	(E/B)	(F)	(F/B)	(G)	(G/B)	(H)	(H/B)	(I)	(I/B)	(J)	(J/B)
あさひ	199	108	54.3%	23	21.3%	26	24.1%	18	16.7%	17	15.7%	2	1.9%	0	0.0%	7	6.5%	15	13.9%
こん中央	191	115	60.2%	23	20.0%	26	22.6%	27	23.5%	19	16.5%	0	0.0%	3	2.6%	14	12.2%	3	2.6%
ときとう	141	93	66.0%	20	21.5%	21	22.6%	26	28.0%	18	19.4%	2	2.2%	1	1.1%	4	4.3%	1	1.1%
ゆのかわ	274	160	58.4%	28	17.5%	39	24.4%	58	36.3%	13	8.1%	5	3.1%	0	0.0%	14	8.8%	3	1.9%
たかおか	203	92	45.3%	16	17.4%	26	28.3%	41	44.6%	6	6.5%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%
西堀	205	108	52.7%	13	12.0%	23	21.3%	24	22.2%	26	24.1%	0	0.0%	2	1.9%	8	7.4%	12	11.1%
亀田	277	160	57.8%	31	19.4%	23	14.4%	24	15.0%	54	33.8%	1	0.6%	6	3.8%	14	8.8%	7	4.4%
神山	162	96	59.3%	14	14.6%	21	21.9%	21	21.9%	34	35.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	6.3%
よろこび	109	59	54.1%	10	16.9%	10	16.9%	10	16.9%	28	47.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%
社協	36	12	33.3%	2	16.7%	0	0.0%	1	8.3%	5	41.7%	1	8.3%	2	16.7%	0	0.0%	1	8.3%
合計	1,797	1,003	55.8%	180	17.9%	215	21.4%	250	24.9%	220	21.9%	11	1.1%	15	1.5%	63	6.3%	49	4.9%
H29以降累計	4,947	2,689	54.4%	496	18.4%	581	21.6%	690	25.7%	599	22.3%	27	1.0%	35	1.3%	139	5.2%	122	4.5%

・見守りネットワーク事業における実態把握対象者4,947名のうち、54.4%にあたる2,689名には実態把握を行うことができなかった。

・実態把握を行えなかった理由としては、玄関先で終了、家族同居、連絡票投函後応答なし、断りの連絡が多かった。玄関先で終了および断りの連絡の1,186名については、簡単な状況確認とセンターの周知を行うことができたが、連絡票投函後応答なしの581名については、状況が一切分からない。  
令和2年度で全町の実態把握が終了し、令和3年度から改めて実態把握を開始することから、繰り返し実態把握を実施することで、状況が一切分からない高齢者数を減らしていきたいと考える。

## 5 保健福祉サービス等利用調整

### (1) 利用調整件数の推移

(件)

センター名	調整数	(再) 除排雪
あさひ	80	35
こん中央	139	39
ときとう	95	55
ゆのかわ	138	73
たかおか	70	45
西 堀	44	33
亀 田	111	74
神 山	115	72
よろこび	62	44
社 協	401	59
合 計	1,255	529
H30実績	1,457	540

### (2) モニタリング実施状況

(件・%)

センター名	対象者数	実施数	実施率
あさひ	17	17	100.0%
こん中央	17	17	100.0%
ときとう	3	3	100.0%
ゆのかわ	13	13	100.0%
たかおか	5	5	100.0%
西 堀	6	6	100.0%
亀 田	7	7	100.0%
神 山	10	10	100.0%
よろこび	11	11	100.0%
社 協	9	9	100.0%
合 計	98	98	100.0%
H30実績	183	183	100.0%

## 6 住民に対する広報・啓発活動

### (1) 住民に対する広報・啓発回数

(回)

センター名	広報紙の発行	パンフレット等の配布	出前講座講師派遣	認知症サポーター養成講座
あさひ	3	26	28	2
こん中央	3	15	11	2
ときとう	2	15	16	9
ゆのかわ	2	2	21	3
たかおか	2	11	11	0
西 堀	3	17	2	2
亀 田	2	6	14	3
神 山	3	13	11	2
よろこび	2	9	11	3
社 協	2	46	30	0
合 計	24	160	155	26
H30実績	24	161	162	33

### (2) 総合相談にかかる広報・啓発回数

(回)

センター名	センター業務	介護保険制度	保健福祉サービス	認知症
あさひ	14	5	2	13
こん中央	14	3	0	7
ときとう	19	10	14	16
ゆのかわ	18	8	4	9
たかおか	10	8	2	4
西 堀	8	4	1	8
亀 田	12	5	2	5
神 山	17	4	4	7
よろこび	19	3	3	6
社 協	4	4	41	41
合 計	135	54	73	116
H30実績	167	64	47	115

- ・住民に対する広報・啓発回数はほぼ例年通りであるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月以降は地域での集まりの多くが中止されたことから、平成30年度と比較し、出前講座・講師派遣や認知症サポーター養成講座による広報・啓発回数が減少したと考えられる。
- ・広報紙の発行について、平成30年度同様、多くの地域住民に読んでもらうことができるよう記載内容の見直しを行ったり、高齢者だけでなく、その子ども世代にとって身近な場所での配布を新たに依頼するなど、積極的に周知に取り組んでいると評価できる。
- ・センターの周知については、『函館市地域包括支援センター運営方針』においても、「地域包括支援センターの周知と対応力の底上げ」を重点課題に掲げており、キャッチフレーズやロゴを作成し、市とセンターが協働して様々な場面で周知するなど強化を行っている。しかし、高齢者人口が増加しているにも関わらず、総合相談件数が増加しない現状もあることから、周知の効果を評価するとともに、より効果的な方法で継続して実施する必要があると考えられる。

# 【包括的支援事業】権利擁護業務

## 1 権利擁護相談対応状況

### (1) 権利擁護業務対応状況

(件・%)

センター名	対象者数		実対応回数		延対応回数※1		1件あたりの対応回数 実対応回数/対象者数			(参考) 権利擁護事例に 占める虐待事例 の割合
		(内) 虐待事例※2		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例	(内) 虐待事例以外	(内) 虐待事例		
あさひ	21	7	229	57	242	65	10.9	12.3	8.1	33.3%
こん中央	60	8	885	123	931	128	14.8	14.7	15.4	13.3%
ときとう	29	9	377	69	420	70	13.0	15.4	7.7	31.0%
ゆのかわ	16	8	104	57	113	65	6.5	5.9	7.1	50.0%
たかおか	37	3	687	28	699	28	18.6	19.4	9.3	8.1%
西堀	39	13	319	140	330	141	8.2	6.9	10.8	33.3%
亀田	51	16	785	114	809	119	15.4	19.2	7.1	31.4%
神山	61	9	809	91	947	120	13.3	13.8	10.1	14.8%
よろこび	22	6	284	46	311	46	12.9	14.9	7.7	27.3%
社協	10	2	394	22	399	23	39.4	46.5	11.0	20.0%
合計	346	81	4,873	747	5,201	805	14.1	15.6	9.2	23.4%
H30実績	323	89	4,181	838	4,486	892	12.9	14.3	9.4	27.6%

※1 複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

※2 高齢者虐待と判断した事例だけではなく、高齢者虐待疑いとして対応した事例も含む。

### (2) 医療機関とのネットワーク構築

(件)

センター名	個別ケース 支援連携数	ネットワーク 構築機関数
あさひ	11	15
こん中央	32	20
ときとう	17	15
ゆのかわ	8	6
たかおか	19	14
西堀	12	7
亀田	25	14
神山	16	14
よろこび	10	9
社協	6	3
合計	156	117
H30実績	250	188

・権利擁護業務の対象者数は、平成30年度と比較しやや増加しているが、そのうち虐待事例はやや減少している。困難事例を早期に把握し、適切な支援を行うことで、高齢者虐待を防止することが可能になることから、今後も早期発見・早期介入を意識した支援が重要になると考えられる。また、1件あたりの対応回数が平均14.1回と平成30年度と比較してやや増加しており、対応が困難で長期化する事例が多くなっていることが伺える。

・困難事例や高齢者虐待事例の把握や支援において、医療機関との連携が重要になる。現状、十分な連携がとれている医療機関がある一方、特に地域のクリニックとの連携に課題を抱えるケースも多い。これまで、「相談シート」の作成や配布等を行ってきたが、十分な効果がみられていないことから、医療機関とセンターの連携状況について分析し、問題の要因を明らかにしたうえで、対策を検討する必要があると考えられる。

・対応実績については、現在の報告様式の形態では評価を行うことが難しいため、今後、集計方法を見直す必要がある。



## 2 スキルアップ対策

### (1) 研修会や事例検討会の開催, 参加

(回)

センター名	高齢者虐待	困難事例	成年後見制度 消費者被害
あさひ	1	3	5
こん中央	5	4	6
ときとう	3	3	10
ゆのかわ	4	0	2
たかおか	4	1	7
西堀	2	1	4
亀田	2	0	7
神山	3	1	9
よろこび	3	4	7
社協	2	0	6
合計	29	17	63
H30実績	29	26	51

- ・職員のスキルアップ対策では、困難事例についての研修会・事例検討会の開催が減少しているが、各センターで日頃からミーティング等を行い、対応の検討等を実施していることが影響していると考えられる。高齢者虐待、成年後見制度等については、例年通りの開催・参加となっている。
- ・住民等に対する広報・啓発活動では、平成30年度と比較し、成年後見制度と消費者被害に関する広報・啓発回数が増加している。地域住民のニーズや成年後見制度を必要とするケースが増加しているためと考えられる。

## 3 住民等に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	高齢者虐待防止		成年後見制度		消費者被害防止	
	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布
あさひ	2	6	2	1	3	6
こん中央	1	2	0	0	1	0
ときとう	1	2	2	1	3	2
ゆのかわ	10	2	0	0	2	0
たかおか	2	7	0	0	1	11
西堀	1	6	0	1	0	2
亀田	1	5	1	1	2	2
神山	3	1	1	3	1	5
よろこび	1	2	1	1	1	0
社協	0	2	14	31	11	3
合計	22	35	21	39	25	31
H30実績	41	48	11	14	16	26

# 【包括的支援事業】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

## 1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況

### (1) ケアマネジメント研修(合同)事業実績

開催日時	開催場所	内容	参加者数	
				(再) 介護支援 専門員
令和元年10月4日(金) 14:00~17:00	ホテル法華クラブ函館	講演:ICFを学ぼう	261人	166人
令和元年10月5日(土) 9:00~12:00		講師:西尾市地域包括支援センター西尾 センター長 藤田 正之 氏		

※同内容の研修を2回開催することで、業務の都合に合わせて参加日を選択できるようにした。

### (2) ケアマネジメント研修(圏域)事業実績

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加 事業所数
あ さ ひ	令和元年12月11日(水) 18:00~20:00	総合在宅ケアセンター あさひ	【事例検討】 向かう方向がバラバラ? 本人が自立を考えると本人がかかわること、周りがかかわること	24人	20事業所
こ ん 中 央	※ 令和元年11月12日(火) 14:00~16:00	函館市中央図書館	【講義】 高齢者虐待について、成年後見制度について 【懇談会】 認知症に罹患された高齢者や身寄りのない高齢者の権利を守るために成年後見制度を活用しながらどういった支援をしていくか	27人	18事業所
と き と う	令和元年8月9日(金) 15:00~16:30	地域包括支援センター ときとう	【事例検討】 本人にとっての望ましい環境	10人	3事業所
	※ 令和元年11月12日(火) 14:00~16:00	函館市中央図書館	【講義】 高齢者虐待について、成年後見制度について 【懇談会】 認知症に罹患された高齢者や身寄りのない高齢者の権利を守るために成年後見制度を活用しながらどういった支援をしていくか	27人	18事業所
ゆ の か わ	※ 令和元年10月11日(金) 18:30~21:00	天金	【講義】 高齢者虐待におけるケアマネジャーの役割、要介護施設従事者向け「高齢者虐待防止研修会」について、成年後見制度「本人情報シート」について 【交流会】	14人	10事業所
た か お か	※ 令和元年10月11日(金) 18:30~21:00	天金	【講義】 高齢者虐待におけるケアマネジャーの役割、要介護施設従事者向け「高齢者虐待防止研修会」について、成年後見制度「本人情報シート」について 【交流会】	14人	10事業所
西 堀	令和元年6月7日(金) 15:00~16:00	西堀病院	【懇談会】 福祉分野での「自立」の概念、研修方法・開催時期について、困難事例検討会の開催について	9人	9事業所
	令和元年11月15日(金)	富岡町一丁目町会館	【事例検討会】 家族の援助が困難な認知症を患った独居高齢者の支援について	21人	11事業所
	令和2年2月18日(火) 14:00~16:15	西堀病院	【講義】 インテーク(初回面談・相談)時に、ICFの視点で聞き取りができる 【演習】 事例を通じたICFシートの演習・意見交換	13人	6事業所
亀 田	令和元年6月8日(土) 10:00~11:45	美原町会館	【講義】 民生児童委員について、地域包括支援センターについて、ケアマネジャーについて 【懇談会】 民生児童委員との意見交換	37人	9事業所
	※ 令和2年1月17日(金) 18:00~19:45	亀田病院	【事例検討】 セラピストからみるICF~ICFを活用して事例検討しよう~	48人	16事業所
神 山	令和2年1月15日(水) 13:30~15:00	ライフプレステージ白ゆり 美原	【演習】 事例をICFの図に落とし込んでみる、意見交換	20人	10事業所

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
よろこび	令和元年7月25日(木) 18:00～19:00	ハートTOハート北浜	【懇談会】 身寄りのない元気な認知症高齢者～あなたならどうするパート2	56人	20事業所
	※ 令和2年1月17日(金) 18:00～19:45	亀田病院	【事例検討】 セラピストからみるICF～ICFを活用して事例検討しよう～	48人	16事業所
社協	令和2年1月21日(火) 15:00～16:30	函館市戸井支所	【事例検討】 ICFを学ぼう～事例検討を通じてICFの考え方、理解を深める	11人	4事業所

※他センターとの合同開催

### (3) 計画数値の達成率

(回)

	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	合計
実施回数	3	3	4	3	3	5	4	3	4	3	35
計画数値	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
計画数値達成率	100.0%	100.0%	133.3%	100.0%	100.0%	166.7%	133.3%	100.0%	133.3%	100.0%	116.7%

- 平成30年度に主任介護支援専門員部会と市で構築した『ケアマネジメント研修に関する基本指針』に基づき、「多くの介護支援専門員がICFの視点にたち、本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントを行うことができる」ことを目的に、合同研修・圏域研修を開催した。  
なお、基本方針の目的は、5年程度の期間で達成することを想定している。
- 合同研修は、今後の研修の基礎編と位置づけ、「介護支援専門員が実践する包括的・継続的ケアマネジメントの理解を深める」ことを目標に開催し、ICFの基礎を学ぶ内容とした。  
そのため、業務の都合等で研修に参加できない介護支援専門員を減らし、できるだけ多くの介護支援専門員に参加してもらうために、同内容の研修を2日間に渡り実施したが、参加者数は平成30年度と同程度で、市内の介護支援専門員数の55.1%に留まった。要因としては、ICFの必要性を感じなかったり、苦手意識を持つ介護支援専門員が一定程度いることが予想され、周知段階から意識醸成を行う必要があると考えられる。  
研修後実施したアンケートでは、自由記載の質問項目で、半数以上の参加者が「ICFの考え方の理解が深まった」と回答しており、一定程度効果があったと考えられるが、実際にICFを活用したアセスメントを行う演習を難しく感じたという参加者もあり、繰り返し実施する必要があると考えられる。
- 圏域研修は、全圏域で振り返り研修を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催できなかった圏域があった。  
その他のテーマでは、例年同様、高齢者の権利擁護に関連する研修や困難事例についての事例検討が多かったが、函館市地域ケア全体会議の動きを踏まえ、民生児童委員との合同研修を開催した圏域もあった。

## 2 介護支援専門員への個別支援

### (1) 対応状況

(人・回・%)

センター名	対象者数(実)	対応回数(実)						終結率(実)		
		来所	電話	訪問	担当者会議等	ケア会議	その他	合計	終結した対象者数	終結率
あさひ	15	3	28	11	3	0	0	45	14	93.3%
こん中央	22	8	116	21	7	0	2	154	17	77.3%
ときとう	13	8	23	7	1	0	4	43	12	92.3%
ゆのかわ	26	16	85	41	14	3	5	164	25	96.2%
たかおか	20	20	65	27	3	4	1	120	20	100.0%
西堀	11	8	56	16	5	1	3	89	9	81.8%
亀田	17	6	73	17	2	0	0	98	16	94.1%
神山	14	10	79	24	5	4	8	130	12	85.7%
よろこび	17	16	25	15	3	0	8	67	17	100.0%
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	155	95	550	179	43	12	31	910	142	91.6%
H30実績	112	72	389	127	31	11	18	648	106	94.6%

### (再掲)

(回)

センター名	ケアマネへの対応回数(実)							対象者本人への対応回数(実)				
	来所	電話	訪問	担当者会議等	ケア会議	その他	合計	来所	電話	訪問	その他	合計
あさひ	3	25	8	3	0	0	39	0	3	3	0	6
こん中央	7	87	13	7	0	1	115	1	29	8	1	39
ときとう	5	16	2	1	0	4	28	3	7	5	0	15
ゆのかわ	15	64	15	14	3	4	115	1	21	26	1	49
たかおか	17	39	15	3	4	1	79	3	26	12	0	41
西堀	3	36	8	5	1	2	55	5	20	8	1	34
亀田	4	61	8	2	0	0	75	2	12	9	0	23
神山	8	59	10	5	4	4	90	2	20	14	4	40
よろこび	7	23	5	3	0	7	45	9	2	10	1	22
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	69	410	84	43	12	23	641	26	140	95	8	269
H30実績	61	284	56	31	11	10	453	11	105	71	8	195

## (2) 支援内容(重複あり・延対応回数)

(人・回)

センター名	対象者数	情報提供					支援方針助言	計画作成助言	地域とのつながり	ケアマネ変更支援	その他
		情報提供内容(重複あり)									
		介護保険	その他制度	社会資源	その他						
あさひ	15	3	0	3	0	1	21	1	4	4	0
こん中央	22	11	3	4	3	2	29	0	1	10	4
ときとう	13	3	1	1	0	1	8	0	1	7	0
ゆのかわ	26	4	3	2	0	0	20	0	8	17	4
たかおか	20	3	1	2	0	0	14	0	4	12	6
西堀	11	2	1	1	0	0	12	0	1	8	0
亀田	17	10	2	5	4	4	19	0	3	6	5
神山	14	7	1	0	0	6	16	6	5	8	4
よろこび	17	6	2	2	1	2	21	2	4	6	2
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	155	49	14	20	8	16	160	9	31	78	25
H30実績	112	48	9	17	12	13	114	8	26	46	17

※複数月に渡り対応している場合、支援回数は、項目ごとに各月1回の計上としている。

## (3) 相談者(重複あり・実数)

(人)

センター名	対象者数	ケアマネ	対象者本人	対象者家族	行政	部署	その他	内訳
あさひ	15	10	2	1	0		2	民生委員, 警察
こん中央	22	13	2	4	0		3	サービス事業所
ときとう	13	7	2	2	0		2	地域住民, 総合相談支援業務で把握
ゆのかわ	26	14	6	4	1	障がい保健福祉課	4	民生委員, 町会役員, 在宅福祉委員, 病院
たかおか	20	12	1	6	0		3	民生委員, 町会役員, 地域住民
西堀	11	6	3	3	0		0	
亀田	17	13	1	2	1	亀田福祉課	2	民生委員, 病院
神山	14	7	1	4	1	高齢福祉課	2	在宅福祉委員
よろこび	17	11	3	3	0		1	社会福祉協議会
社協	0	0	0	0	0		0	
合計	155	93	21	29	3		19	
H30実績	112	68	11	25	0		15	

(4) 対象者の概要

①対象者本人の状況(実数)

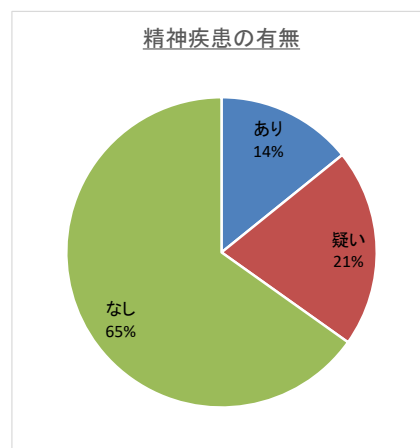
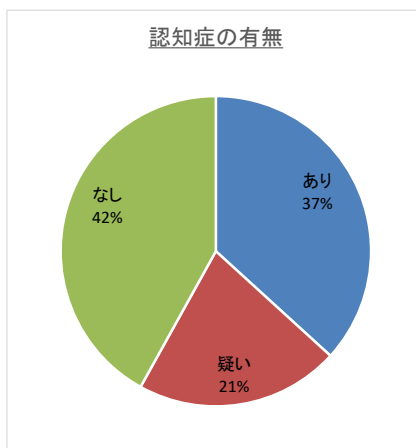
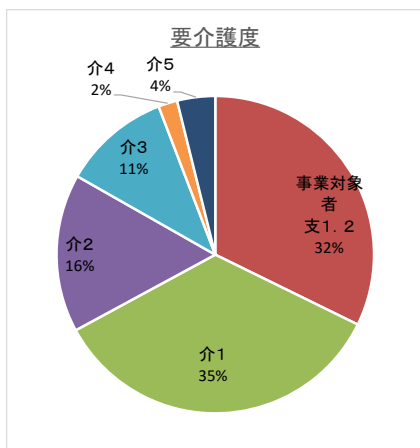
(人)

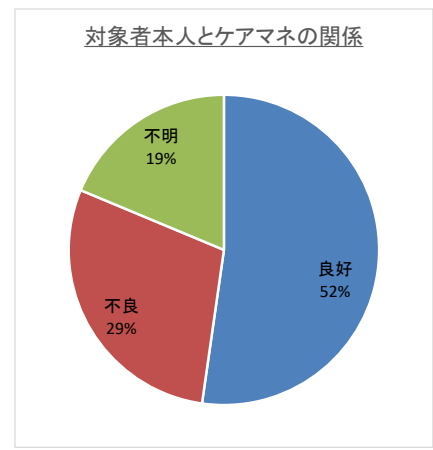
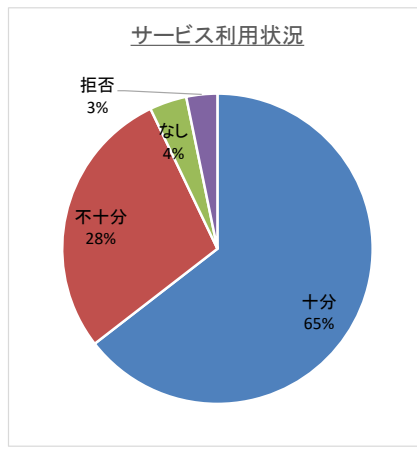
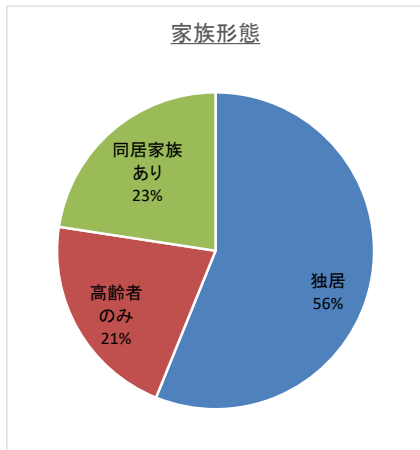
センター名	対象者数	要介護度									認知症			精神疾患		
		なし	事業対象者	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	あり	疑い	なし	あり	疑い	なし
あさひ	15	0	1	0	2	8	2	1	0	1	3	2	10	4	2	9
こん中央	22	0	0	0	10	4	2	4	2	0	7	5	10	5	3	14
ときとう	13	0	1	0	4	6	1	1	0	0	10	0	3	2	1	10
ゆのかわ	26	0	0	6	4	4	9	1	0	2	8	4	14	2	7	17
たかおか	20	0	1	1	2	8	3	3	1	1	8	3	9	3	1	16
西堀	11	0	0	2	3	5	0	1	0	0	4	2	5	2	3	6
亀田	17	0	2	2	0	7	4	1	0	1	7	4	6	2	2	13
神山	14	0	0	2	3	6	1	1	0	1	5	6	3	1	6	7
よろこび	17	0	1	2	1	6	3	4	0	0	5	7	5	1	7	9
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	155	0	6	15	29	54	25	17	3	6	57	33	65	22	32	101
H30実績	112	3	1	11	17	38	18	14	6	4	50	20	42	17	23	72

②支援状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	家族形態						サービス利用状況				ケアマネとの関係		
		独居		高齢者のみ		同居家族あり		あり		なし	拒否	良好	不良	不明
		支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	十分	不十分					
あさひ	15	7	6	1	0	1	0	13	2	0	0	7	2	6
こん中央	22	9	5	2	1	5	0	13	8	0	1	13	6	3
ときとう	13	5	4	2	0	2	0	9	3	1	0	6	4	3
ゆのかわ	26	7	8	2	3	5	1	20	6	0	0	14	10	2
たかおか	20	5	3	6	0	6	0	15	3	2	0	14	5	1
西堀	11	6	1	1	0	2	1	7	3	0	1	3	5	3
亀田	17	7	0	2	2	6	0	9	5	1	2	9	4	4
神山	14	6	3	2	2	1	0	6	6	1	1	6	5	3
よろこび	17	4	1	7	0	5	0	8	8	1	0	9	4	4
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	155	56	31	25	8	33	2	100	44	6	5	81	45	29
H30実績	112	31	22	21	8	27	3	64	41	4	3	56	37	19



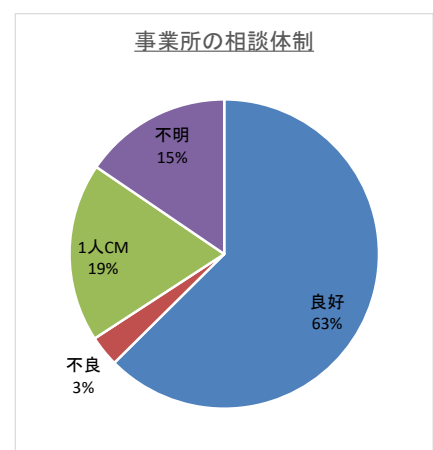
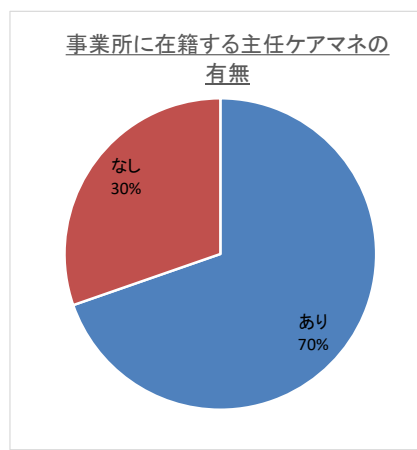
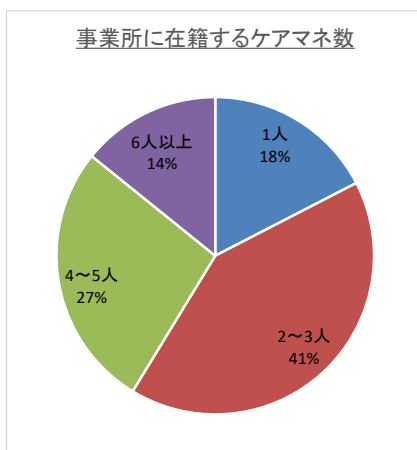


(5) 事業所および介護支援専門員の概要

①事業所の状況(実数)

(件)

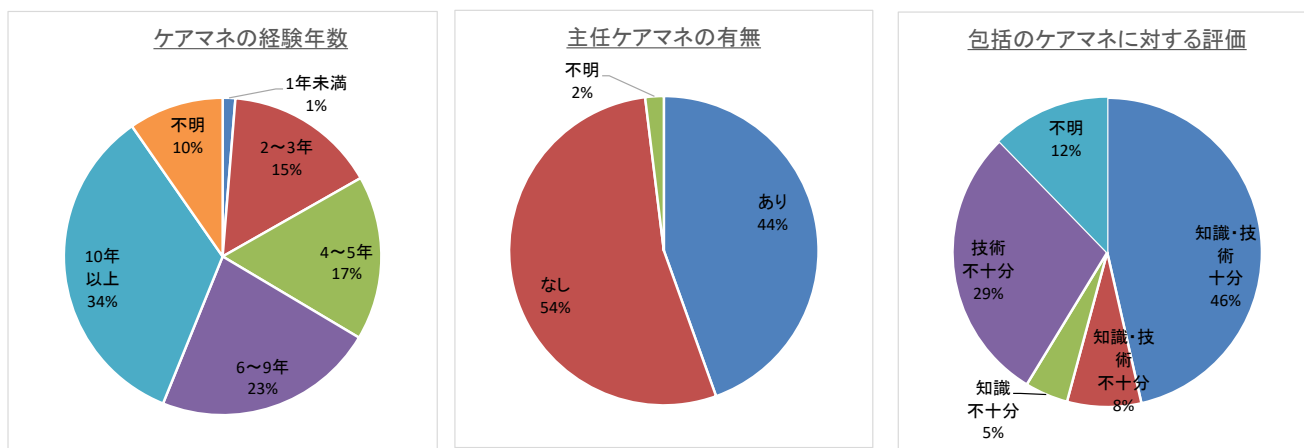
センター名	対象者数	ケアマネの人数				主任ケアマネの有無		事業所の相談体制			
		1人	2~3人	4~5人	6人以上	あり	なし	良好	不良	1人ケアマネ	不明
あさひ	15	1	8	3	3	8	7	13	1	1	0
こん中央	22	4	9	8	1	17	5	16	0	4	2
ときとう	13	3	6	2	2	10	3	6	0	3	4
ゆのかわ	26	1	14	9	2	19	7	17	4	1	4
たかおか	20	5	7	5	3	10	10	11	0	4	5
西堀	11	0	6	3	2	7	4	7	0	4	0
亀田	17	2	8	4	3	16	1	11	0	2	4
神山	14	6	4	2	2	9	5	6	0	5	3
よろこび	17	5	2	6	4	12	5	10	0	5	2
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	155	27	64	42	22	108	47	97	5	29	24
H30実績	112	14	49	34	15	70	42	65	7	11	29



②介護支援専門員の状況(実数)

(人)

センター名	対象者数	ケアマネの経験年数						主任ケアマネの有無			包括の評価(重複あり)			
		1年未満	2~3年	4~5年	6~9年	10年以上	不明	あり	なし	不明	十分	知識不十分	技術不十分	不明
あさひ	15	0	6	3	1	5	0	4	11	0	8	3	6	0
こん中央	22	0	5	2	5	6	4	8	14	0	14	2	6	1
ときとう	13	0	2	3	3	3	2	6	7	0	4	3	5	3
ゆのかわ	26	0	2	2	9	9	4	12	12	2	14	0	4	8
たかおか	20	1	2	2	8	7	0	7	13	0	10	5	10	0
西堀	11	0	1	2	3	2	3	3	7	1	3	2	5	2
亀田	17	0	3	4	1	8	1	11	6	0	11	1	3	2
神山	14	1	1	3	2	7	0	8	6	0	3	1	10	1
よろこび	17	0	2	5	3	6	1	10	7	0	5	2	8	2
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	155	2	24	26	35	53	15	69	83	3	72	19	57	19
H30実績	112	10	14	17	31	28	12	45	64	3	54	22	33	13



(6) 課題の背景(重複あり)

(件)

センター名	対象者数	対象者本人の問題	対象者家族の問題	ケアマネの問題	その他	その他の内訳
あさひ	15	12	3	5	2	サービス事業所の問題, 住宅型有料老人ホームの支援体制不足
こん中央	22	16	7	3	0	
ときとう	13	6	4	9	2	サービス事業所の問題, なし(緊急時の対応についての確認)
ゆのかわ	26	16	8	8	4	居宅介護支援事業所内での相談体制の問題, サービス事業所の問題, 支援者の連携不足
たかおか	20	9	10	16	5	サービス事業所の問題, 生活保護ケースワーカーの問題
西堀	11	5	4	7	0	
亀田	17	8	9	5	6	近隣住民の問題, 下宿の管理人の問題, サービス事業所の問題, なし(高齢者の社会貢献の情報提供)
神山	14	6	6	8	1	サービス事業所の問題
よろこび	17	12	10	10	1	宗教関係の問題
社協	0	0	0	0	0	
合計	155	90	61	71	21	
H30実績	112	58	51	50	13	



- ・介護支援専門員への個別支援について、平成30年度と比較して、対象者数および対応回数が増加している。とくに、介護支援専門員や対象者本人からの相談が増加しているが、主任介護支援専門員部会において、課題分析のために軽微な相談も計上することを共有したことも影響していると考えられる。
- ・支援内容は、支援方針の助言が増加しているが、上記のとおり軽微な相談も計上することで増加したと考えられる。また、地域とのつながりについては、函館市地域ケア全体会議において、相談しやすい仕組みづくりの一環として、民生児童委員と介護支援専門員の連携を強化するため、令和元年度には『民生委員とケアマネジャーの連携ガイド』の発行等を行っており、民生児童委員や介護支援専門員が自らつながるための支援を求めるケースが出てきており、今後も意識的に支援を行う必要があると考えられる。
- ・介護支援専門員の評価では、知識不十分が12.3%、技術不十分が36.8%に留まっている一方、課題の要因をみると、対象者本人に要因があるケースが58.1%、対象者の家族に要因があるケースが39.4%を占めており、困難性が高いケースにおいて、センターの介護支援専門員への後方支援の需要が高まっていると考えられる。
- ・主任介護支援専門員部会において、現在の報告様式の内容では、介護支援専門員の課題やセンターの支援の評価が行いづらいとの問題提起があり、様式の見直しを実施した。令和2年度からは、支援に至った要因と支援内容を詳細に分類し分析することで、介護支援専門員の個別支援およびケアマネジメント体制の構築を適切かつ効果的に実践するための情報として活用する。

# 【包括的支援事業】生活支援体制整備事業

## 1 地域におけるネットワーク構築

### (1) 地域におけるネットワーク構築数

※総合相談支援業務における地域包括支援ネットワーク構築数(P.5)のうち第2層生活支援コーディネーター業務を兼ねた回数。

(回)

センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会 行事	運営推進 会議	その他	合計
あさひ	2	19	1	1	12	9	44
こん中央	2	0	1	4	1	2	10
ときとう	5	6	2	2	3	2	20
ゆのかわ	0	0	3	3	2	2	10
たかおか	1	3	0	7	0	2	13
西堀	9	5	1	5	25	5	50
亀田	0	0	1	11	0	3	15
神山	2	2	1	4	14	8	31
よろこび	0	0	0	3	1	5	9
社協	2	9	0	0	14	26	51
合計	23	44	10	40	72	64	253

- 生活支援体制整備事業における地域とのネットワーク構築は、総合相談支援業務の地域におけるネットワーク構築の場を活用し、センターが第2層生活支援コーディネーターであることの周知を行っているセンターがほとんどである。
- 今後は、単に周知を行うだけでなく、第2層生活支援コーディネーター業務に活用できるよう、これまで構築してきたネットワークを強化する必要があると考えられる。

## 2 住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発

### (1) 住民主体の助け合い活動等の重要性に関する広報・啓発活動

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	2	1
こん中央	1	2
ときとう	1	2
ゆのかわ	1	0
たかおか	0	2
西堀	0	2
亀田	1	1
神山	1	1
よろこび	0	1
社協	0	1
合計	7	13

- 住民主体の助け合い活動等の広報・啓発回数は、各センター1～3回と少ない状況にある。第2層生活支援コーディネーター業務の実施方法に悩みを抱えるセンターも多く、十分な広報・啓発機会を設けられていない現状があると考えられる。引き続き、定期的で開催されている生活支援コーディネーター連絡会において、情報共有や意見交換を実施し、積極的に広報・啓発機会を設ける必要がある。

### 3 地域における高齢者の支援体制および社会参加に関するニーズの把握および課題の抽出

#### (1) 第2層協議体の実施回数

※地域課題の検討を行う地域ケア会議(P.30)のうち第2層協議体を兼ねた回数。

(回)

センター名	実施回数
あさひ	2
こん中央	3
ときとう	4
ゆのかわ	5
たかおか	5
西堀	2
亀田	1
神山	11
よろこび	2
社協	3
合計	38

- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議40回のうち、第2層協議体を兼ね、高齢者の生活支援や介護予防の基盤整備に関する検討を行った会議は38回だった。
- ・会議で抽出された地域課題では、地域の互助力の低下が最も多く、次いで、地域福祉の担い手の不足や負担の増大、支え合いや介護予防活動の創出・継続に関連する課題が多かった。
- ・協議体では、地域の多様な社会資源に携わる関係者が集まり、地域の高齢者の見守り体制や支え合いの仕組みづくりについて、ニーズの把握や意識醸成を行ったほか、集い場の創出や既存の集い場を継続するための検討を行った。  
多世代交流の場づくりが地域活動への協働へ結びついた取組や新たな集い場の創出につながった協議体があり、協議体の開催をとおして第2層生活支援コーディネーターの役割を十分発揮できていると評価できる。

#### (2) 第2層協議体で抽出された地域課題

※地域課題の検討を行う地域ケア会議(P.33)で抽出された地域課題のうち第2層協議体を兼ねた会議で抽出された地域課題。

(件)

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	支え合い介護予防	その他
あさひ	2	0	2	2	0	2	0
こん中央	3	2	3	3	2	3	0
ときとう	4	3	4	3	4	3	0
ゆのかわ	5	0	5	3	5	2	0
たかおか	0	0	5	5	4	5	0
西堀	0	0	2	2	2	1	0
亀田	0	0	0	0	1	0	0
神山	8	0	8	8	3	7	0
よろこび	1	0	2	2	0	2	0
社協	0	0	2	2	1	3	1
合計	23	5	33	30	22	28	1

#### 4 住民主体の助け合い活動等の仕組みの創出および充実

##### (1) 自主活動グループの支援状況

(件・回)

センター名	団体数	支援回数
あさひ	3	12
こん中央	6	22
ときとう	5	38
ゆのかわ	4	36
たかおか	4	30
西堀	0	0
亀田	1	4
神山	3	9
よろこび	8	28
社協	1	8
合計	35	187

・令和元年度は、高齢者の生きがいと健康づくり推進事業で過去に立ち上げ、現在、自主活動グループとして支援しているグループへの支援がほとんどだった。

・令和2年度には、高齢者の生きがいと健康づくり推進事業を生活支援体制整備事業に包含することになっており、介護予防だけではなく、住民主体の助け合い活動への発展を目指した支援を行うことが重要になる。また、地域で活動しているその他のグループを発掘し、活動を充実させていくための支援を行うなど、支援する団体の拡大も求められる。

##### (2) 自主活動グループでの出前講座実施数

(件・回)

センター名	団体数	支援回数
あさひ	1	8
こん中央	0	0
ときとう	0	0
ゆのかわ	1	2
たかおか	0	0
西堀	0	0
亀田	0	0
神山	0	0
よろこび	1	1
社協	3	11
合計	6	22

## 【包括的支援事業】認知症総合支援事業

### 1 認知症初期集中支援推進事業

#### (1) 認知症初期集中支援チーム活動状況

(人・回)

疾患センター名	対象者	訪問回数(延)	チーム会議	検討委員会	備考
富田病院	4	17	2	2	チーム会議:随時開催
渡辺病院	2	8	4		チーム会議:毎月第2木曜日
亀田北病院	4	46	9		
合計	10	71	15	2	
H30実績	10	128	18	2	

※渡辺病院の対象者1人は、協議のうえ所管外のケースとして対応。

#### (2) チーム員の編成 基本的に専門職2名以上, 専門医1名以上 計3名以上

地域包括支援センター			認知症疾患医療センター		市
地区	名称	専門職(75人)	担当	専門医(5人)専門職(18人)	専門職(9人)
西部	あさひ	専門職 (各センター1名以上) 医療系,介護系 保健師 社会福祉士 主任介護支援専門員等	富田病院	専門医:認知症サポート医 亀田北病院 渡辺病院 富田病院  専門職 (各センター1名以上) 精神保健福祉士 作業療法士 看護師等	保健師 (認知症地域支援推進員)  訪問活動 チーム会議 チーム編成等のコーディネーター 参画
中央部	こん中央 ときとう				
東中央部	ゆのかわ たかおか		渡辺病院		
北東部	西堀		亀田北病院		
	亀田 神山				
北部	よろこび				
東部	社協		渡辺病院		
	ブランチャやべ				

・平成30年度と比較して対象者は同数だが、訪問回数とチーム会議開催回数は下回った。当該事業は、令和元年度が2年目となることから、訪問や会議のあり方などについては、活動しながらより良い実施方法について検討していることが要因と考えられる。

#### (3) 情報交換会の開催状況

開催日	開催場所	内容	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
令和2年2月25日	函館市総合保健センター	実績報告,活動報告,意見交換等	

## 2 認知症地域支援・ケア向上推進事業

### (1) 認知症地域支援推進員連絡会開催状況

開催日	開催場所	内容	出席者数
平成31年4月24日	函館市総合保健センター	ケアバス改訂・認知症カフェ・認知症カフェ企画運営研修について等	20人(うち包括14人)
令和2年1月31日	函館市総合保健センター	認知症地域支援推進員研修会の報告・情報交換,次年度に向けて	17人(うち包括12人)

・会議では各センターから認知症カフェに関する活動報告として、開催に向け協力可能な人材確保や、圏域の資源をリサーチし、認知症カフェ開催とのマッチングについて、準備を進めているなどの報告があった。

・会議の中で各センターの取組状況の情報共有・意見交換を通し、認知症地域支援推進員の理解が深まったと思われる。

### (2) 認知症カフェ<sup>※1</sup>開催状況

名称	担当センター名	開催回数	開催場所	主催
おれんじの木	こん中央	1回 <sup>※2</sup>	特別養護老人ホーム俱備くゆうホール	地域包括支援センターこん中央
認知症カフェ「オレンジの輪」	ときとう	1回	シエスタハコダテ Gスクエア	地域包括支援センターときとう
おれんじカフェ美原	亀田	3回	イトーヨーカドー フードコート	地域包括支援センター亀田
おれんじカフェ昭和	亀田	3回	サービス付き高齢者住宅 アメティコレクティブ 談話室	地域包括支援センター亀田
オレンジはっぴいカフェ in桔梗小学校三本木まつり	よろこび	1回	桔梗小学校 2年1組教室	地域包括支援センターよろこび
オレンジはっぴいカフェ inミスタードーナツ亀田本町ショップ	よろこび	1回	ミスタードーナツ 亀田本町ショップ	地域包括支援センターよろこび
オレンジカフェ石川	亀田 よろこび	0回 <sup>※2</sup>	函館髙屋書店 ステージ	地域包括支援センター亀田 地域包括支援センターよろこび
あったかカフェ	ゆのかわ	1回 <sup>※2</sup>	ケアパートナー函館	ケアパートナー函館
オレンジカフェ函館昭和	亀田	3回 <sup>※2</sup>	SOMPOケア函館昭和デイサービス	SOMPOケア函館昭和
認知症カフェとい茶屋	社協	5回 <sup>※2</sup>	戸井生涯学習センター 戸井西部総合センター	家族会(戸井介護者を支え、寝たきり認知症の予防を推進する会)

※1 認知症カフェとは、認知症の人やその家族が地域の人や介護・医療の専門家と交流することで相互に情報を共有したり、お互いを理解する場

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため予定していた1回を中止

・令和元年7月、認知症カフェ関係者や実施を計画している方を対象に「函館市認知症カフェ企画運営者実践研修会」(市主催)を開催した際に、認知症地域支援推進員が多数参加し、講師の矢吹 知之氏(社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究 研修仙台センター研修部長)のお話により、カフェ開催に向けた動きが浸透したことが考えられる。センターが開催または後方支援をした認知症カフェは、平成30年度は5か所6回だったが、令和元年度は11か所(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった1か所を含む)19回に増加した。

・事業所が開催する認知症カフェをセンターが支援するなど、多様な認知症カフェのあり方が広まった。

### (3) 認知症ケアパス※「知ってあんしん 認知症ガイドブック」第2版作成に関する打ち合わせ会開催状況

開催日	開催場所
令和元年5月16日	函館市総合保健センター
令和元年6月21日	函館市役所
令和元年7月18日	函館市総合保健センター
令和元年9月12日	函館市総合保健センター
令和元年10月10日	函館市総合保健センター
令和元年11月22日	函館市総合保健センター
令和元年12月9日	函館市総合保健センター
令和2年1月16日	函館市総合保健センター

- ・市と全センターと協催で令和2年6月 認知症ケアパス「知ってあんしん 認知症ガイドブック」第2版 発行に向けて打ち合わせ会を8回開催。
- ・令和元年12月19日、認知症疾患センター(3センター)と認知症の家族会から意見をいただく打ち合わせ会を実施。
- ・令和2年2月19日、函館市認知症初期集中支援チーム検討委員会に案を提示し意見を聴取。

※認知症ケアパスとは、地域ごとに発症予防から人生の最終段階まで、生活機能障がい の進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければ良いのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示したもの

- ・令和元年度、認知症地域支援推進員連絡会で、認知症ケアパス全面改訂に向け準備することが決定し、関係機関の協力を得ながら令和2年度 第2版の完成となった。
- ・認知症ケアパス打ち合わせ会で討議した内容を各センターに持ち帰り、協議した結果を反映させ、第2版の内容が充実したものとなったと評価できる。

### (4) 研修参加

(回, 人)

センター名	認知症関係	認知症地域支援推進員研修会(再掲)
あ さ ひ	3	1
こ ん 中 央	6	2
と き と う	7	1
ゆ の か わ	5	1
た か お か	5	3
西 堀	2	1
亀 田	5	2
神 山	4	0
よ ろ こ び	3	1
社 協	2	1
合 計	42	13
H 3 0 実 績	29	14

- ・認知症地域支援推進員研修会に限定せず、各研修会への積極的な参加により、認知症地域支援推進員連絡会の中で活発な意見が出されるなど、認知症地域支援推進員としてのスキルアップにつながったと思われる。

# 【包括的支援事業】地域ケア会議推進事業

## 1 地域ケア会議開催状況

### (1) 実施回数と計画数値の達成率(実数)

(回・%)

センター名	個別ケースの検討			地域課題の検討			合計		
	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率
あさひ	2	5	40.0%	3	3	100.0%	5	8	62.5%
こん中央	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
ときとう	6	6	100.0%	4	3	133.3%	10	9	111.1%
ゆのかわ	7	7	100.0%	5	4	125.0%	12	11	109.1%
たかおか	6	6	100.0%	5	3	166.7%	11	9	122.2%
西 堀	4	5	80.0%	2	3	66.7%	6	8	75.0%
亀 田	7	7	100.0%	1	3	33.3%	8	10	80.0%
神 山	7	7	100.0%	11	4	275.0%	18	11	163.6%
よろこび	7	6	116.7%	3	3	100.0%	10	9	111.1%
社 協	4	3	133.3%	3	2	150.0%	7	5	140.0%
合 計	56	58	96.6%	40	31	129.0%	96	89	107.9%
H30実績	61	58	105.2%	35	31	112.9%	96	89	107.9%

・地域ケア会議開催状況は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた地域ケア会議が開催できず、計画数値を達成できなかったセンターがあった。

・個別ケースの検討を行う地域ケア会議は、98.2%が個別課題解決機能を、91.1%がネットワーク構築機能を有しており、地域で高齢者を支えるためのネットワーク構築の場として有効に活用されていた。

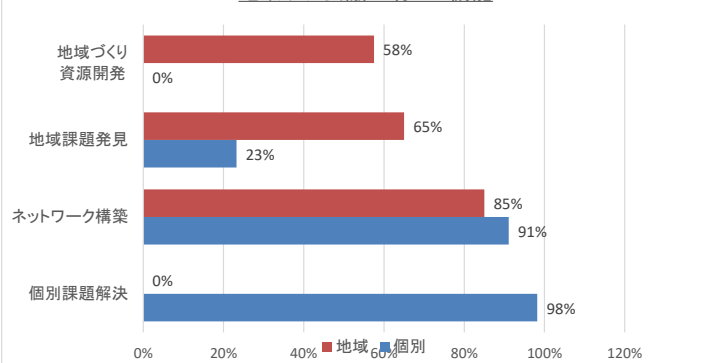
・地域課題の検討を行う地域ケア会議は、85.0%がネットワーク構築機能を、65.0%が地域課題発見機能を有していた。  
また、地域づくり・資源開発機能を有する会議は57.5%で、平成30年度と比較して大幅に増加した。同じ地域で繰り返し開催することで、地域住民の意識醸成が進んでいるほか、具体的な資源開発に至るセンターが増えてきている。  
効果的な地域ケア会議の開催のため、平成30年度から各センターで「日常生活圏域レベルの地域課題の整理」を実施している。地域の問題が発生している要因の分析を行うことで、以前に比べ根拠をもって対応策を検討できるようになったと評価できる。  
今後は、全センターで地域づくり・資源開発機能を有する地域ケア会議が開催できるよう目指す必要がある。

### (2) 地域ケア会議が有した機能(実数・重複あり)

(回)

センター名	個別ケースの検討				地域課題の検討				合計			
	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発
あさひ	2	2	0	0	0	2	3	2	2	4	3	2
こん中央	6	6	0	0	0	3	3	2	6	9	3	2
ときとう	6	6	1	0	0	4	4	1	6	10	5	1
ゆのかわ	7	7	5	0	0	5	5	3	7	12	10	3
たかおか	6	6	4	0	0	5	1	5	6	11	5	5
西 堀	4	4	0	0	0	2	2	0	4	6	2	0
亀 田	7	4	0	0	0	1	1	0	7	5	1	0
神 山	6	6	3	0	0	9	3	6	6	15	6	6
よろこび	7	7	0	0	0	3	1	2	7	10	1	2
社 協	4	3	0	0	0	0	3	2	4	3	3	2
合 計	55	51	13	0	0	34	26	23	55	85	39	23
H30実績	61	51	18	0	0	29	26	12	61	80	44	12

地域ケア会議が有した機能





### (3) 地域ケア会議の参集者

#### ① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	ケアマネ	介護事業所	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	2	0	0	0	2	0	0	2	3	1	3	1	12
こん中央	6	1	0	0	3	0	1	5	10	3	4	5	32
ときとう	6	0	1	2	7	0	1	3	3	3	5	10	35
ゆのかわ	7	0	1	3	2	2	2	5	5	5	3	8	36
たかおか	6	0	2	1	5	9	3	4	6	4	2	2	38
西堀	4	0	1	0	5	0	0	3	1	0	6	11	27
亀田	7	3	6	0	2	1	0	5	5	2	3	3	30
神山	7	3	4	2	7	3	3	5	12	1	1	1	42
よろこび	7	2	5	3	5	0	0	6	2	7	1	1	32
社協	4	2	3	0	1	1	1	2	1	1	3	5	20
合計	56	11	23	11	39	16	11	40	48	27	31	47	304
H30実績	61	15	29	26	45	15	18	36	54	19	43	44	344

\*医療機関の内訳

おおむら整形外科病院(相談員), 亀田北病院(精神保健福祉士), 共愛会病院(相談員), 高橋病院(相談員), 函館五稜郭病院(相談員), 函館市医師会病院(看護師, 相談員), 函館新都市病院(理学療法士, 相談員), 函館中央病院(相談員), 函館渡辺病院(看護師, 相談員)

\*行政の内訳

高齢福祉課, 生活支援課, 亀田福祉課, 東部保険事務所, 戸井支所市民福祉課, 次世代育成課

\*その他の内訳

障がい事業所, 調剤薬局, 中央警察署, 西警察署, 駐在所・交番, 成年後見センター, 住宅都市施設公社, 小学校(教員), 養護学校(教員), 法テラス函館, 北海道函館児童相談所, 北海道社会福祉協議会雄島地区事務所, 後見人, 保佐人, 弁護士, 郵便局, 銀行, 新聞販売店, タクシー会社, 住宅管理会社, ボランティア団体, サークル責任者, 友人・知人

#### ② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	地域住民	民生委員	町会役員	在宅福祉	ケアマネ	サービス事業所	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	3	16	1	1	9	0	4	0	1	0	32
こん中央	3	28	3	3	1	9	10	2	5	3	64
ときとう	4	1	13	20	6	5	17	1	1	20	84
ゆのかわ	5	6	16	34	10	10	7	27	8	16	134
たかおか	5	2	5	37	40	8	20	0	7	39	158
西堀	2	0	11	3	4	0	0	0	0	0	18
亀田	1	0	0	0	12	0	6	0	2	15	35
神山	11	15	41	27	0	4	12	0	3	71	173
よろこび	3	6	14	8	1	5	12	0	4	23	73
社協	3	0	4	4	0	2	5	2	3	9	29
合計	40	74	108	137	83	43	93	32	34	196	800
H30実績	35	119	130	182	101	83	—	2	45	209	871

\*医療機関の内訳

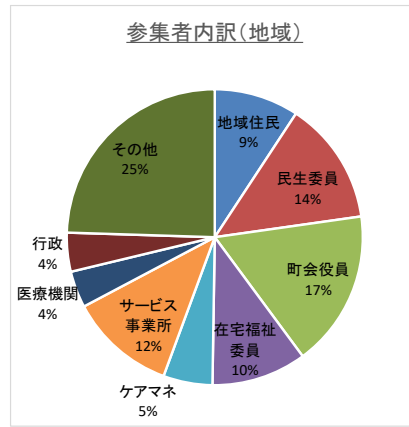
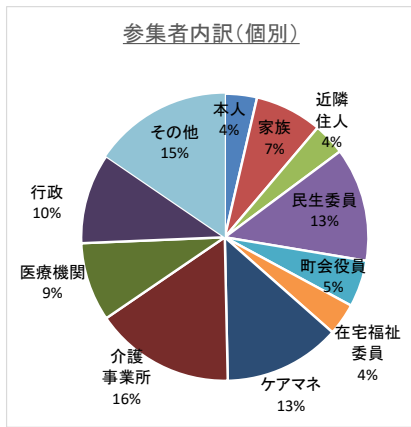
共愛会病院(事務員), 国立函館病院(看護師・管理職), こんクリニック時任(理学療法士), 市立南茅部病院(看護師), 富田病院(医師), 函館赤十字病院(看護師, 相談員)

\*行政の内訳

保健福祉部長, 地域包括ケア推進課, 高齢福祉課, 総務部総務課(防災担当), 戸井支所市民福祉課, 次世代育成課, 企業局

\*その他の内訳

障がいサービス事業所, 函館市在宅歯科医療連携室, 函館社会福祉協議会, 北海道リハビリテーション専門職協会, 法テラス函館, 第1層生活支援コーディネーター, 地域支え合い推進協議会委員, 石川保育園(園長), 本通小学校(教員, PTA, コミュニティースクール委員), 万年橋小学校(教員), 亀田中学校(教員), 五稜郭中学校(PTA), 稜北高等学校(教員), 函館高等支援学校(教員), 市立函館病院看護学院(学生), 函館看護専門学校(学生), 北海道教育大学函館校(教員, 学生), 北海道大学水産学部(学生), 放課後児童クラブ, 薬局, ガス会社, 電気会社, タクシー会社, 商店, シルバーハウジング, その他民間事業所, 消防団, 老人クラブ, NPO法人, ボランティア団体, ぐらしのサポーター, 家族介護者

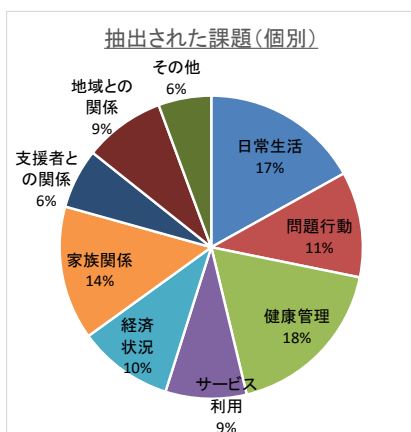


- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議の1回あたりの参加者数は、平成30年度とほぼ変わらず5.4人だった。内訳をみると、介護保険事業所職員が最も多く、次いで介護支援専門員、民生児童委員が多かった。インフォーマル機関とフォーマル機関の参加者数がほぼ同数であり、地域住民と専門職が協働し高齢者への支援の充実を図るための会議として、有効に機能していると考えられる。
- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議の1回あたりの参加者数は、平成30年度の24.9人から20.0人に減少し、会議の規模がやや小さくなっている。地域づくり・資源開発機能を有する会議が増加しているため、広く参加者を参集するのではなく、取組の核となる人を参集していることが影響していると考えられる。内訳をみると、町会役員が最も多く、次いで民生児童委員、介護サービス事業所、在宅福祉委員が多かった。包括ケアシステムの構築のため、地域住民が自ら会議に参画し、取組を進めることができているのは、経年的に意識醸成を積み重ねてきた効果と評価できる。また、その他の内訳をみると、高齢者分野以外の機関の参加が徐々に増加している。複数の圏域で、多世代交流による地域づくりを進めているため、とくに子ども分野の参加者が増加している傾向がある。

#### (4) 地域ケア会議で抽出された課題

##### ① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり) (件)

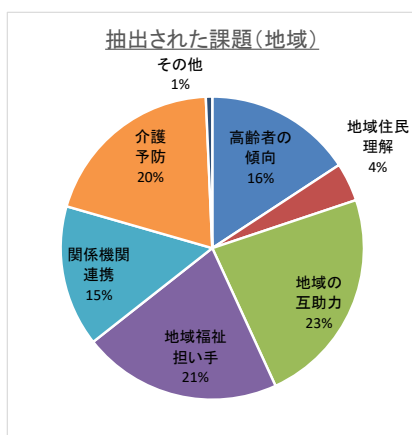
センター名	日常生活	問題行動	健康管理	サービス利用	経済状況	家族関係	支援者との関係	地域との関係	その他
あさひ	1	0	2	1	1	1	0	1	1
こん中央	5	3	5	2	4	2	1	1	3
ときとう	5	3	5	4	3	5	4	1	1
ゆのかわ	4	5	7	3	3	6	5	5	0
たかおか	5	5	5	1	4	2	1	1	3
西堀	2	1	3	2	2	3	2	3	2
亀田	6	3	5	2	4	6	2	2	1
神山	7	2	5	3	2	5	1	5	2
よろこび	7	7	7	4	1	5	0	2	2
社協	3	1	4	1	3	3	1	2	0
合計	45	30	48	23	27	38	17	23	15
H30実績	42	35	45	31	21	41	17	28	9



- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で抽出された課題は、平成30年度とほぼ同様の傾向で、適切に受診や薬物管理ができていないなど健康管理の問題や、家事を適切に行えないなど日常生活上の問題、障がいをもつ家族や疎遠な家族など家族関係の問題が多く抽出された。
- ・平成30年度と比較し、医療関係者の参加が多くなっており、健康管理の問題について、医療と介護が連携し解決策の検討ができたことと評価できる。

②地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり) (件)

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	支え合い介護予防	その他
あさひ	2	1	2	2	0	2	0
こん中央	3	2	3	3	2	3	0
ときとう	4	3	4	3	4	3	0
ゆのかわ	5	0	5	3	5	2	0
たかおか	0	0	5	5	4	5	0
西 堀	0	0	2	2	2	1	0
亀 田	0	0	0	0	1	0	0
神 山	8	0	8	8	3	7	0
よろこび	1	0	3	3	0	3	0
社 協	0	0	2	2	1	3	1
合 計	23	6	34	31	22	29	1
H30実績	10	5	17	15	2	8	11



・地域課題の検討を行う地域ケア会議で抽出された地域課題は、地域の互助力の低下、民生児童委員や町会役員等を担う人材の不足や負担の増加などの地域福祉の担い手の問題が多く、ほぼ全てのセンターで地域課題としてあげられており、全市的な課題と考えられる。

## (5) 地域ケア会議で検討された解決策

### ① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	地域づくり	その他
あさひ	2	2	1	0	0	1	0	2	1	0	0
こん中央	3	4	4	1	1	1	3	6	2	0	1
ときとう	6	6	5	1	2	1	3	6	4	0	1
ゆのかわ	6	7	2	0	1	2	1	6	5	0	0
たかおか	6	6	3	0	1	3	4	6	4	3	1
西 堀	4	4	2	1	0	1	1	4	3	0	1
亀 田	2	6	3	0	0	1	1	5	0	0	1
神 山	7	5	5	1	2	1	2	7	6	1	1
よろこび	5	7	4	0	1	3	2	6	4	0	0
社 協	3	4	3	1	1	2	3	3	1	0	0
合 計	44	51	32	5	9	16	20	51	30	4	6
H30実績	43	46	32	4	9	22	17	41	38	4	5

- ・ 個別ケースの検討を行う地域ケア会議で検討された解決策は、平成30年度とほぼ同様の傾向で、地域や関係者の見守り体制の構築、ネットワーク構築が多く、地域ケア会議を通してインフォーマルな資源も含めた支援体制を構築できたと評価できる。
- ・ 支援ネットワークの構築や役割分担等により、個々のケースでは支援の充実が図られている一方、課題を解決するための社会基盤の整備へ十分繋がっていない現状もある。令和元年度から、市とセンターで「全市レベルの地域課題の整理」の場を設ける予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となったことから、令和2年度に実施し、必要時、政策形成機能につなげる必要があると考えられる。

### ② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス 拡充	周知	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	地域づくり	その他
あさひ	0	0	2	2	0	1	2	0
こん中央	0	0	2	3	2	3	3	0
ときとう	3	2	2	3	4	4	3	0
ゆのかわ	4	3	2	1	3	5	4	0
たかおか	0	0	5	5	5	5	5	1
西 堀	2	0	1	1	2	1	2	0
亀 田	1	0	0	0	0	1	0	0
神 山	4	4	0	8	7	8	11	0
よろこび	0	0	3	0	0	1	3	0
社 協	0	0	1	0	0	0	2	3
合 計	14	9	18	23	23	29	35	4
H30実績	4	2	0	12	8	11	8	17

- ・ 地域課題の検討を行う地域ケア会議で検討された解決策では、平成30年度と比較して地域づくりや地域住民と関係機関とのネットワーク構築が大幅に増加している。地域づくりでは、多世代交流や障がい分野との連携など、地域包括ケアから地域共生社会への発展が見込まれる活動も増加している。また、これまで地域課題の抽出に留まっていたセンターも、日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づき地域ケア会議を実施することで、今後の取組の見通しが見えてくる会議が増えてきており、効果的な会議運営ができていると評価できる。
- ・ 圏域での取組が推進する一方、圏域の取組だけでは解決が難しい地域課題も抽出されている。個別課題を検討する地域ケア会議で記載した、「全市レベルの地域課題の整理の場」で共有するとともに、他の会議体へ地域課題を持ち込む等を行うことで、政策形成に結びつける必要があると考えられる。

## 2 住民等に対する広報・啓発活動

### ①地域ケア会議にかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	0	2
こん中央	0	6
ときとう	1	10
ゆのかわ	2	2
たかおか	0	5
西 堀	0	2
亀 田	0	4
神 山	1	5
よろこび	0	1
社 協	0	4
合 計	4	41
H30実績	7	37

### ②地域での見守りにかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	1	5
こん中央	1	2
ときとう	5	4
ゆのかわ	3	3
たかおか	5	2
西 堀	0	6
亀 田	2	2
神 山	5	3
よろこび	1	1
社 協	0	8
合 計	23	36
H30実績	27	66

・地域ケア会議および地域での見守りにかかる広報・啓発回数は、平成30年度と比較し減少している。  
地域ケア会議の参加者は、地域住民の一部であることから、地域全体で取組をすすめるため、会議での検討内容等を積極的に周知する必要があると考えられる。  
また、地域課題の検討を行う地域ケア会議で検討された解決策として、地域の見守り体制の構築が増加していることから、地域での見守りについての広報・啓発機会も増やす必要があると考えられる。

## 【任意事業】

### 1 住宅改修支援事業

#### (1) 住宅改修支援状況(延数)

(回)

センター名	支援回数
あさひ	6
こん中央	11
ときとう	17
ゆのかわ	21
たかおか	14
西 堀	22
亀 田	14
神 山	22
よろこび	18
社 協	22
合 計	167
H30実績	155

#### (2) 住民に対する広報・啓発活動(延数)

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレットの配布
あさひ	0	3
こん中央	0	0
ときとう	1	10
ゆのかわ	2	1
たかおか	0	1
西 堀	0	2
亀 田	0	1
神 山	0	2
よろこび	0	1
社 協	6	1
合 計	9	22
H30実績	13	56